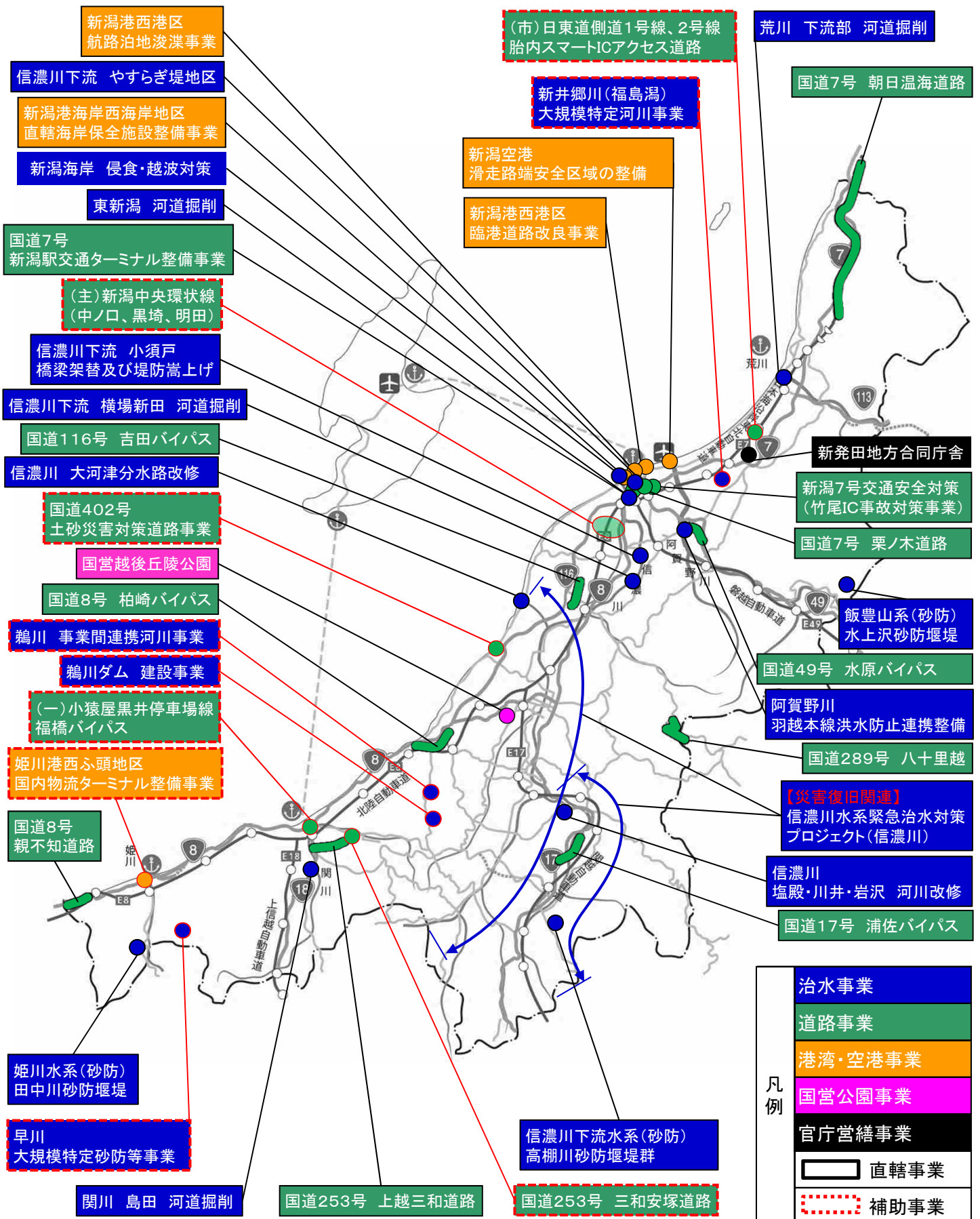


北陸地方整備局
令和2年度予算 主要事業

[参考資料]

新潟県内の主要事業



信濃川下流 横場新田 河道掘削 の着手

にいがた みなみかんばら たがみまち
新潟県南蒲原郡田上町

R2事業費
3,072百万円※1

※1: 信濃川下流河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減し、洪水の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川（五十嵐川・中ノ口川）の水位低減にもつながるものです。

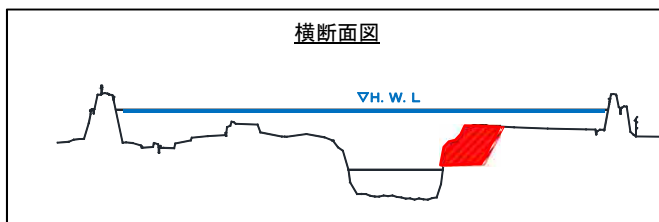
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削に着手します。

整備効果

河道掘削の着手により、信濃川下流域の本川・支川の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

横場新田地区の河道掘削を着手します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

国道7号新潟駅交通ターミナル整備事業の新規事業化

にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
50百万円

事業の概要

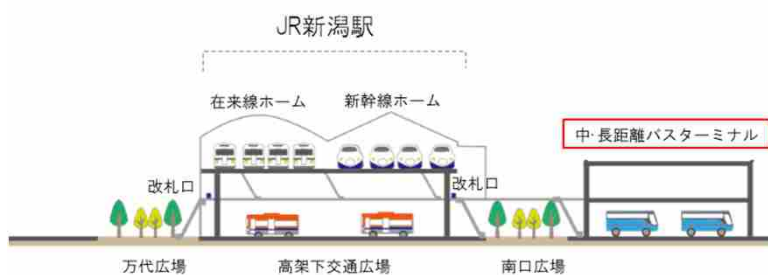
新潟駅交通ターミナル整備事業は、新潟駅における新たな交通結節点として、点在する中・長距離バス停を集約するバスターミナルを整備するとともに、路線バスとの運行経路を分離し、円滑に通行可能なアクセス道路を一体的に整備することで、交通の円滑化を図るとともに、人・公共交通を優先した道路空間の再編による快適なバス待ち空間の確保、駅周辺のにぎわい創出を目的とした事業です。

整備効果

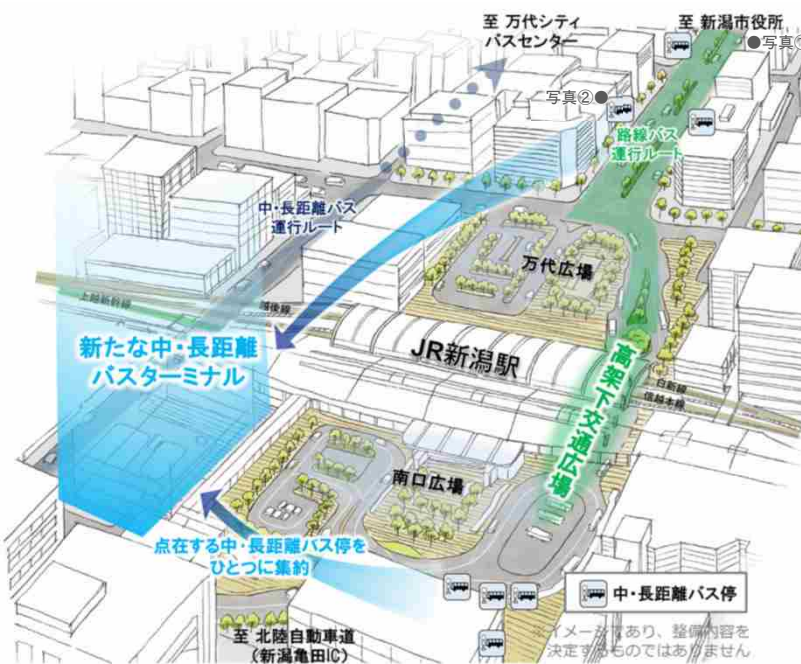
- ・中・長距離バス停の集約により、一般国道7号における交通の円滑性を確保
- ・公共交通利用者の乗換等の利便性の向上及びバス待ち環境改善による快適性の向上
- ・広場との連携による、にぎわい空間の創出
- ・災害時の帰宅困難者対策等に活用可能な空間整備による防災機能の向上

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、調査設計を推進します。



▲断面図(整備イメージ)



▲将来の姿(整備イメージ)



▲バスによる車線閉塞の状況



▲冬期のバス待ち状況

にいがた
新潟 7 号交通安全対策事業
たけお
(竹尾 I C 事故対策事業) の新規事業化
にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
27百万円

事業の概要

当該箇所は、新潟西港へアクセスする市道との交差点であり、商業施設や住宅が多くある市街地に位置し、交通量が多い地区です。オフランプから市道への流入及び市道からオンランプへの合流が円滑に行えないため、無理な流入・合流を行う車両による事故が多発しています。また、オフランプの右折滞留長が不足しているため、新潟バイパス本線に及ぶ滞留が発生しており、直進車両阻害による事故が多発しています。

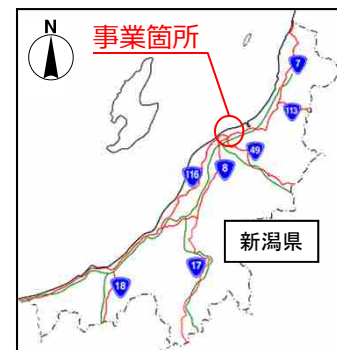
本事業は、加速合流車線設置による流入・合流を円滑にする対策や、右折滞留長延伸による直進車両阻害を低減する対策により、安全性を確保する事業です。

整備効果

加速合流車線の設置及び右折滞留長の延伸による事故の防止

令和2年度の事業内容

令和2年度に新規事業化し、調査設計を実施します。



国道 8 号 ^{おやしらず} 親不知道路事業の新規事業化 ^{にいがた いといがわ} 新潟県糸魚川市

R2事業費
50百万円

事業の概要

親不知道路は、一般国道 8 号 ^{にいがた とやま} 新潟・富山県境付近における事前通行規制区間（連続雨量140mm、180mm）を解消するとともに、国際海上コンテナ車のボトルネック区間の解消を図ることを目的とした、^{いといがわ となみ いちぶり} 糸魚川市外波から同市市振に至る延長約 6.7 km の道路整備事業です。

整備効果

- ・事前通行規制の解消により、規制区間に挟まれた集落等の孤立の危険性を解消
- ・安全・安心な道路環境を確保することで幹線道路の信頼性を向上
- ・上空・曲線障害の解消により、物流効率化など地域経済活動を支援

令和 2 年度の事業内容

令和 2 年度より、新規事業に着手し、測量、地質調査、道路設計を推進します。



▲ 雨量規制による通行止状況



▲ 物流の支障となる急カーブ



国道116号

吉田バイパス事業の新規事業化 新潟県燕市・新潟市

R2事業費
50百万円

事業の概要

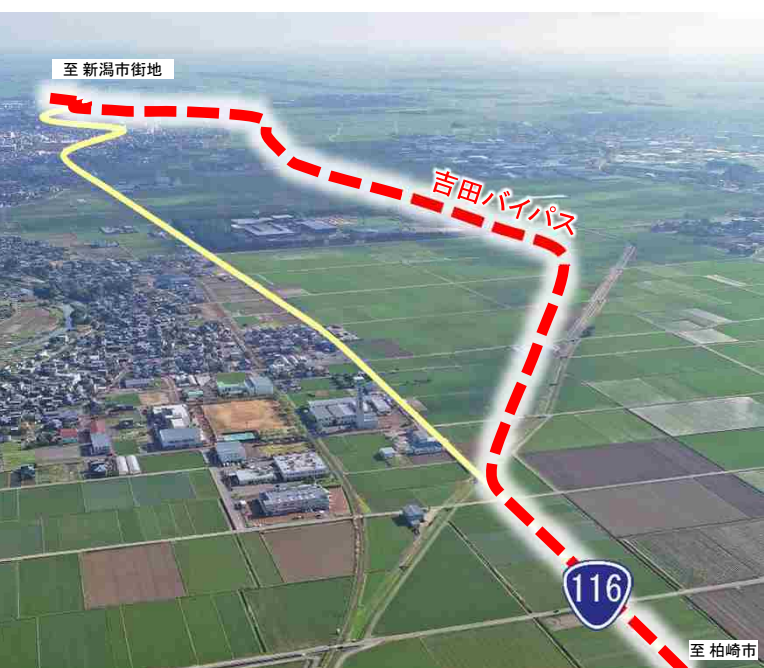
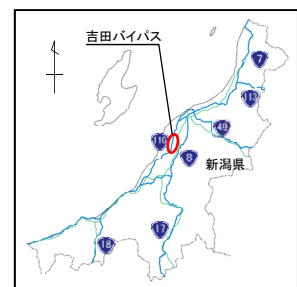
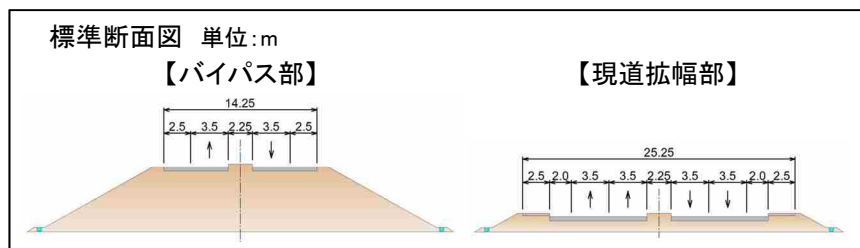
吉田バイパスは、燕市市街地における慢性的な渋滞の解消、交通事故の減少および物流の効率化などを目的とした、燕市熊森から新潟市西蒲区高橋に至る延長約11.5kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・市街地通過交通がバイパスに転換し、現道の渋滞が解消
- ・渋滞解消に伴う交通事故の減少
- ・物流効率化による地域経済活動の支援

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、測量を推進します。



しばた
新発田地方合同庁舎 外壁・建具改修
にいがた しばた
新潟県新発田市

R2事業費
70百万円

事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、経年劣化が著しい外壁・建具について、緊急的な改修を実施します。

整備効果

行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

令和2年度の事業内容

しばた
令和2年度は、新発田地方合同庁舎の外壁・建具改修を実施します。

新発田地方合同庁舎の概要

入居官署：新発田公共職業安定所
新発田労働基準監督署
北陸農政局加治川二期
農業水利事務所

所在地：新潟県新発田市日渡96番地

築年度：1993年

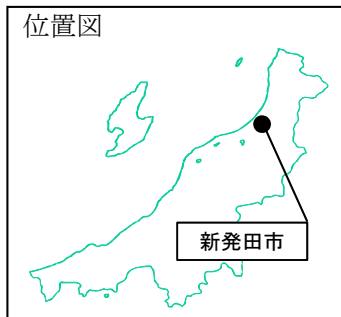
構造：鉄筋コンクリート造

階数：地上4階建

延床面積：2,202㎡



【位置図】



【新発田地方合同庁舎外観写真】

う かわ
鵜川事業間連携河川事業の推進
にいがた かしわざき
新潟県柏崎市

R2事業費
162百万円

事業の概要

二級河川鵜川では、昭和53年6月の水害により甚大な被害が発生しました。この浸水被害を解消するため、上流域では鵜川ダム建設、その下流では河道改修を進めておりますが、下流ではダム洪水調節後の洪水を安全に流下できない未改修の区間があります。

そのため、下流の河道改修を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

昭和53年6月洪水と同規模洪水に対する浸水被害が解消します。

令和2年度の事業内容

かしわざきの だ
柏崎市野田地先の河道改修（河道掘削・築堤等）を推進します。



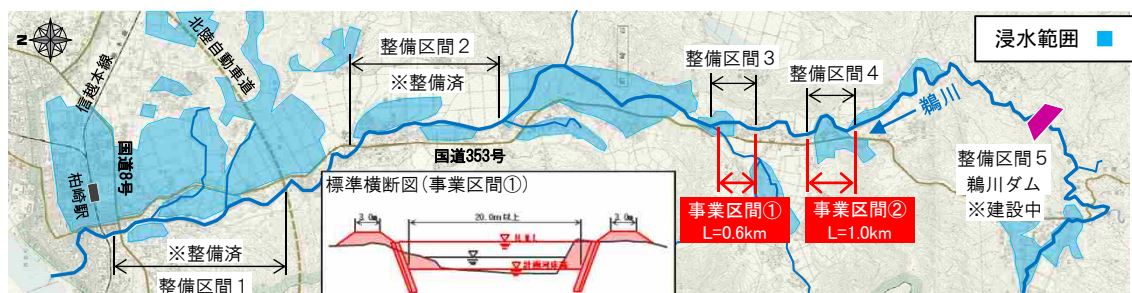
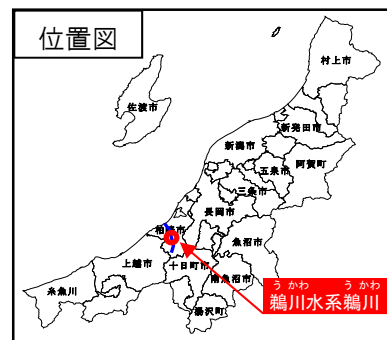
未改修区間（事業区間①）の状況



S53.6豪雨(柏崎駅前付近)



未改修区間（事業区間②）の状況



はやかわ
早川大規模特定砂防等事業の推進
にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

R2事業費
100百万円

事業の概要

二級早川水系早川は、^{はやかわ}新潟焼山に源を発し、^{にいがた}火山砂防区域に位置する流域面積42.7km²の河川です。

流域は、火山噴出物等の脆弱な地質で構成され、河岸、河床の侵食が著しく、河川の縦横断形状は不安定な状況にあります。降雨による下流地域への土砂流出を防止するために、床固工の整備を実施します。

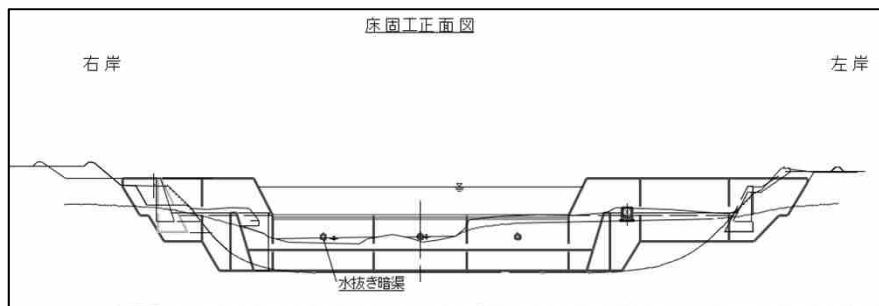
整備効果

床固工の整備を推進し、降雨等に起因する土石流や下流への土砂流出の防止を図り、保全対象である県道や人家等への被害を軽減します。

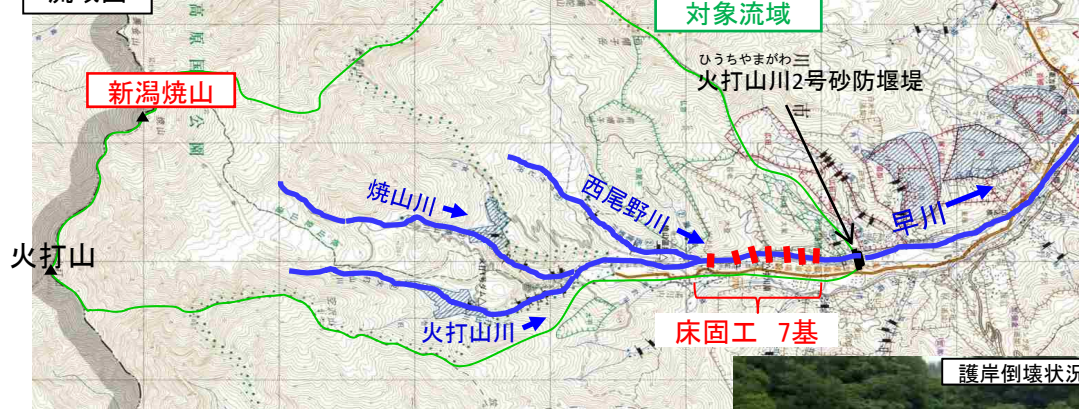
令和2年度の事業内容

^{はやかわ}早川において、床固工の整備を推進します。

位置図



流域図



渓岸侵食状況



護岸倒壊状況(H28.8)



[空港・港湾等アクセス道路]

(一) 小猿屋黒井停車場線 福橋バイパス事業

の新規事業化

新潟県上越市

R2事業費
40百万円

事業の概要

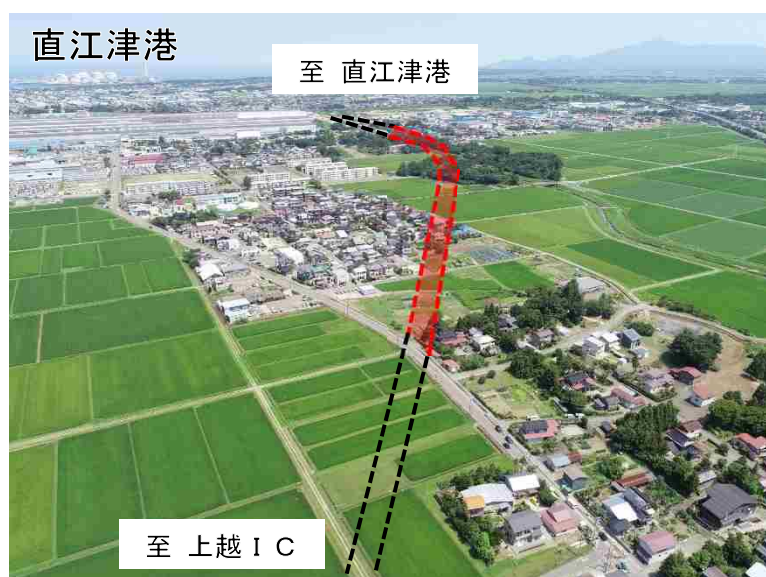
一般県道小猿屋黒井停車場線 福橋バイパスは、上越市の北部に位置する環状道路である都市計画道路黒井藤野新田線の一部を構成し、主要渋滞箇所の解消、物流の効率化を目的とした道路であり、上越市三ツ橋～福橋間の延長約1.2kmの事業です。

整備効果

- ・重点港湾（直江津港）へのアクセス向上
- ・国道18号や北陸自動車道から県営南部産業団地及び上越テクノセンター等へのアクセス向上
- ・並行する国道8号の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、調査設計を推進します。



事業箇所

国道402号 土砂災害対策道路事業の推進

にいがた ながおか さんとう いずもさきまち
新潟県長岡市、三島郡出雲崎町

R2事業費
45百万円

事業の概要

国道402号は、柏崎市かしわざきから新潟市にいがたに至る幹線道路であり、国道116号を補完する路線として、第2次緊急輸送道路に指定される重要な道路です。

長岡市ながおか寺泊山田から出雲崎町いずもさきまち久田くつたにおいて、土砂災害対策事業を実施し、災害による路線の寸断を防止することで、道路ネットワークの一層の強化を目的とした事業です。

整備効果

- ・安心・安全な通行の確保
- ・緊急輸送道路の安全性強化

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、落石対策工事を推進します。



事業箇所（過去の被災事例）

しなのがわ
信濃川

しおどの
塩殿

かわい
川井

いわさわ
岩沢

河川改修 の完了

にいがた おぢや
新潟県小千谷市

R2事業費

3,183百万円※1

※1: 信濃川河川改修事業のR2全体事業費（大河津分水路改修を除く）

事業の概要

信濃川の国管理区間のうち、魚野川合流点直上流の蛇行区間沿川は、河積の不足かつ無堤または弱小堤防区間のため洪水処理能力が不足しており、河積確保が急務となっています。当該区間においては、洪水を安全に流下するための対策が不可欠であり、河道掘削及び堤防整備を実施しています。

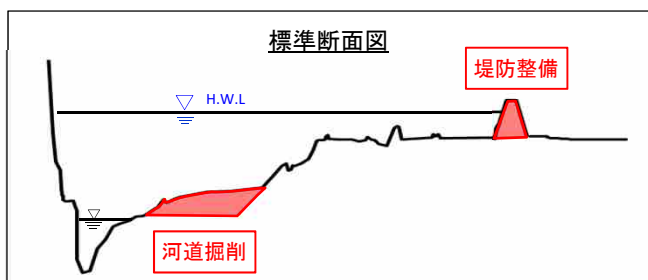
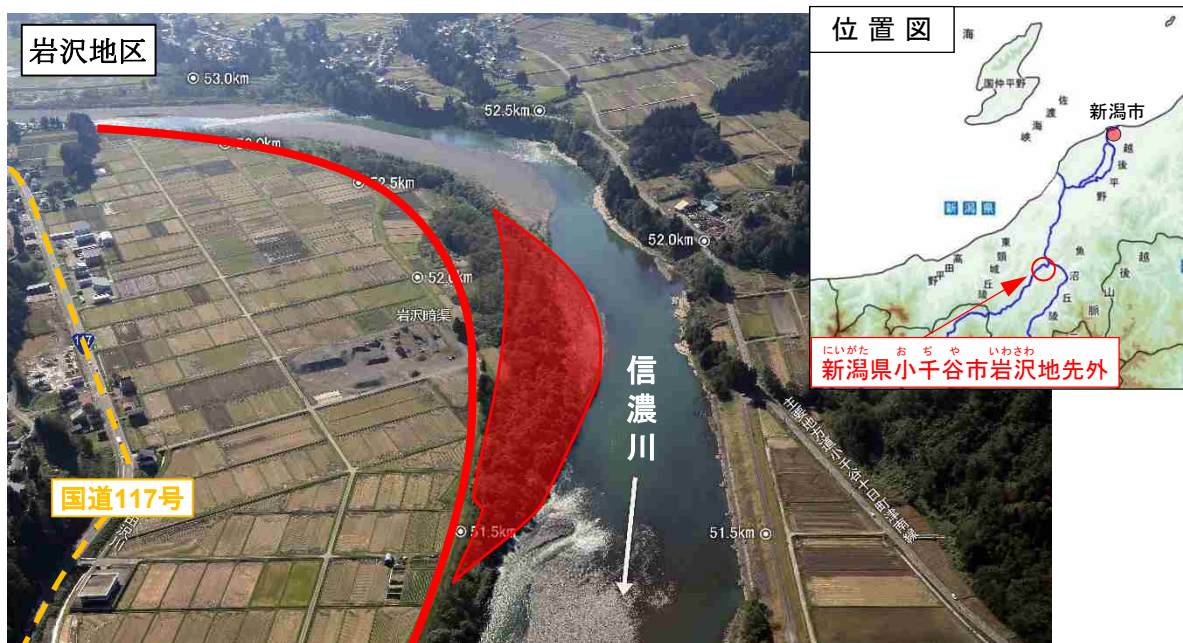
当該区間は令和元年東日本台風により、浸水被害が発生した区間でもあり、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を完了します。あわせて、無堤及び弱小堤防区間の堤防整備を完了します。

整備効果

河道掘削及び堤防整備の完了により、信濃川の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

塩殿・川井・岩沢地区の河道掘削及び堤防整備を完了します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

せきかわ しまだ
関川 島田地区 河道掘削 の完了
にいがた じょうえつ
新潟県上越市

R2事業費
387百万円※1

※1: 関川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

関川は、中・上流部にて洪水処理能力が不足しているため、河道掘削を実施し、整備計画目標流量（既往最大流量S57.9月洪水規模）を確保することを目的としています。

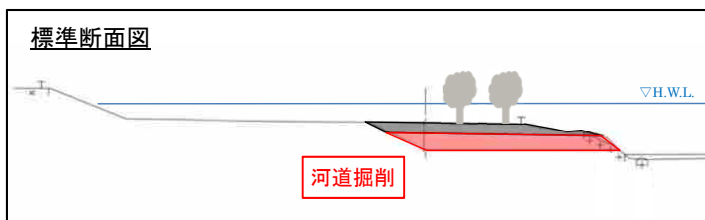
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、河道掘削を完了します。

整備効果

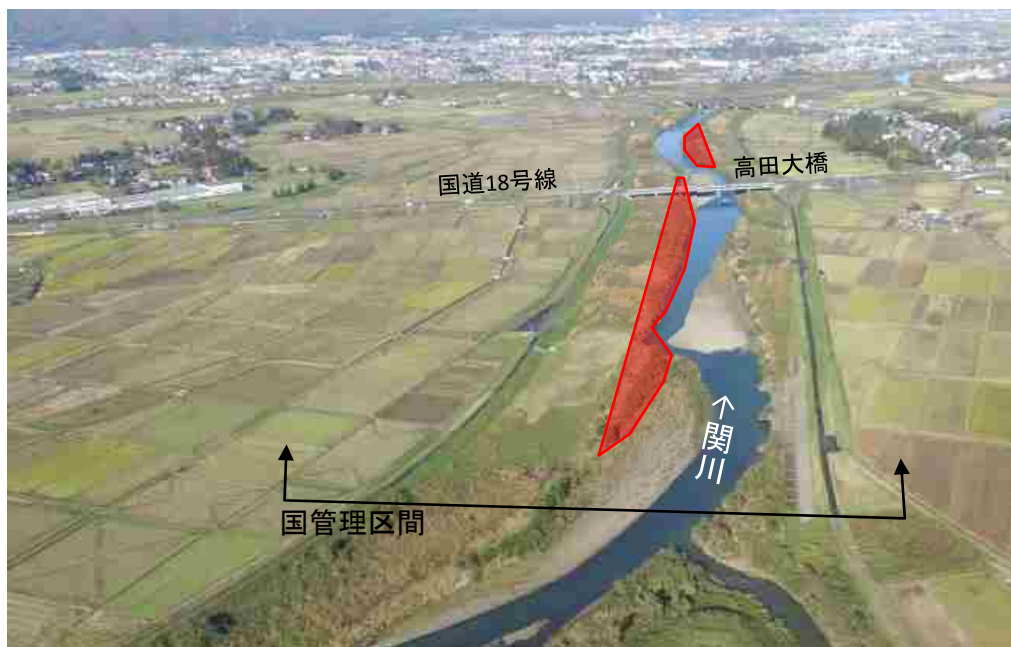
河道掘削の完了により、せきかわの治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

しまだ
島田地区の河道掘削を完了します。



位置図



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわ

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(信濃川)*1の推進

にいがた おちや
新潟県小千谷市 他

R2事業費
142百万円※2

※2:信濃川及び魚野川の河川等災害復旧費のR2事業費

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和2年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの「河川における対策」の内、被災箇所の本格的な災害復旧を推進します。



※大河津分水路改修と大町ダム等再編事業は、プロジェクトと並行して継続実施する。

※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

➤ 緊急治水対策プロジェクトの内容を更新しました。詳細は下記にてご覧いただけます

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinogawakinkyutisuitaisaku/sinogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

あらかわ
荒川

下流部河道掘削 の推進

にいがた むらかみ
新潟県村上市

R2事業費
244百万円※1

※1: 荒川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

荒川下流部の海老江地区は堤防決壊時の想定被害も大きく、事業実施の重要性・緊急性が高い箇所となっており、河道掘削及び樹木伐採を実施し水位低減を図るものです。

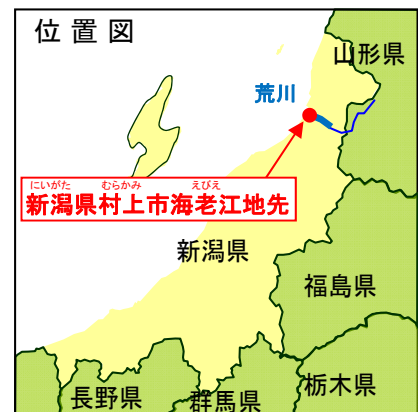
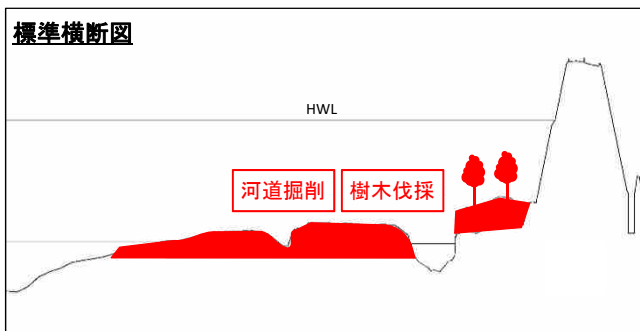
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削・樹木伐採を推進します。

整備効果

河道掘削・樹木伐採の推進により、治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

海老江地区の河道掘削・樹木伐採を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

阿賀野川 羽越本線洪水防止連携整備 の推進

新潟県阿賀野市

R2事業費
1,657百万円※1

※1:阿賀野川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

阿賀野川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、観測史上最大の流量を記録しました。阿賀野市下里地区のJR羽越本線阿賀野川橋梁では水防活動を実施しており、洪水を安全に流下させるための断面が不足していることから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るための河道掘削及び堤防整備が必要となっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を完了します。あわせて、橋梁管理者と連携し、堤防整備に必要となる右岸側のJR羽越本線橋梁部の対策工(部分架替工)を推進します。

整備効果

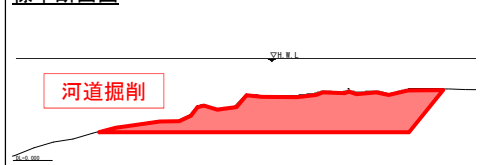
河道掘削の完了及び橋梁の部分架替工、堤防整備の推進により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

下里地区の河道掘削の完了及び橋梁の部分架替工(橋脚補強)、堤防整備を推進します。



標準断面図



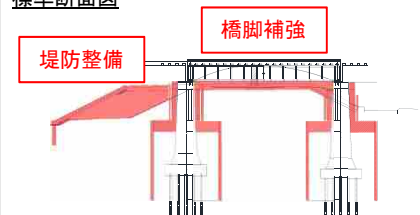
平成23年7月新潟・福島豪雨写真



水防活動の(土嚢積み)様子



標準断面図



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわ
信濃川下流

ひがしにいがた
東新潟
にいがた にいがた
新潟県新潟市

河道掘削 の推進

R2事業費
3,072百万円※1

※1: 信濃川下流河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

新潟市の中心部を貫流する関屋分水路分派点から萬代橋までの本川下流区間において洪水による被害を防ぐことに加え、良好な水辺環境の創出に配慮した5割勾配の緩やかな斜面を持つ堤防、通称「やすらぎ堤」の整備に全国で初めて取り組み、昭和62年よりJR越後線直下流の左岸から整備を進めています。新光町地先は、背後地に新潟県庁等、重要施設が多く位置する箇所です。また、堤防未整備区間でもあり、平成23年7月出水においては、水位が上昇し危険な状態となりました。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

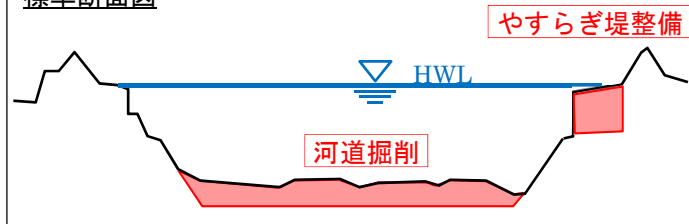
整備効果

河道掘削及びやすらぎ堤整備の推進により、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

東新潟地区の河道掘削及びやすらぎ堤整備を推進します。

標準断面図



位置図



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

^{しなのがわ}信濃川下流 ^{こすど}小須戸 ^{にいがた にいがた}橋梁架替及び堤防嵩上げ ^{の推進} ^{R2事業費} ^{3,072百万円※}

※：信濃川下流河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

^{しなのがわ}信濃川下流域では、平成23年7月^{にいがた ふくしま}新潟・福島豪雨出水において、本川の^{ほみょうしんでん}保明新田から^{いからしがわ}五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となりました。また、^{こすど}小須戸橋はもぐり橋となっており、桁下の一部が洪水の安全な流下を阻害するとともに、橋梁の右岸取付部では水防活動により辛水面下うじて越水被害を免れるなど、大変危険な状況となりました。

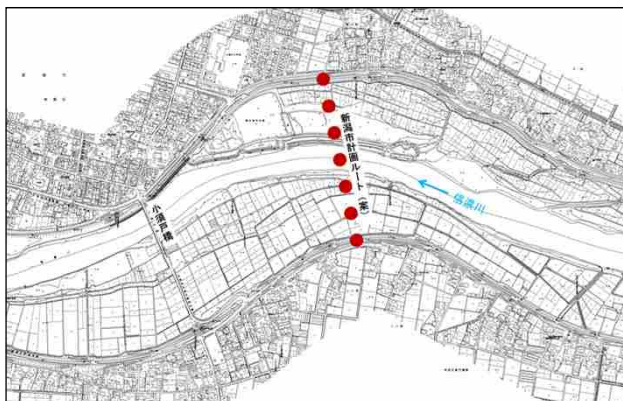
このため、橋梁管理者と連携し、橋梁架替とあわせた^{しなのがわ}小須戸橋右岸取付部の堤防整備（堤防嵩上げ）を推進することにより、^{こすど}信濃川下流域の治水安全度向上を図ります。

整備効果

橋梁架替及び堤防整備（堤防嵩上げ）の推進により、^{しなのがわ}信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

^{こすど}小須戸地区の橋梁架替に伴う、橋梁下部工及び用地補償等を推進します。



^{にいがた ふくしま}平成23年7月新潟・福島豪雨出水状況



▲【写真上】^{こすど}小須戸橋右岸の水防活動



◀【写真左】出水時の^{こすど}小須戸橋

しなのがわ
信濃川

おおこうづ ぶんすいろ
大河津分水路改修
にいがた ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

の推進

R2事業費
8,475百万円※

※：信濃川(大規模)河川改修事業のR2全体事業費（大河津分水路改修）

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年（1922年）に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水、令和元年10月台風第19号による洪水では、分水路直上流及び分水路区間で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築、橋梁架替等を実施することとしています。

整備効果

大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

山地部掘削、第二床固改築、橋梁架替、低水路掘削の推進など事業進捗を図ります。



流下断面が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路



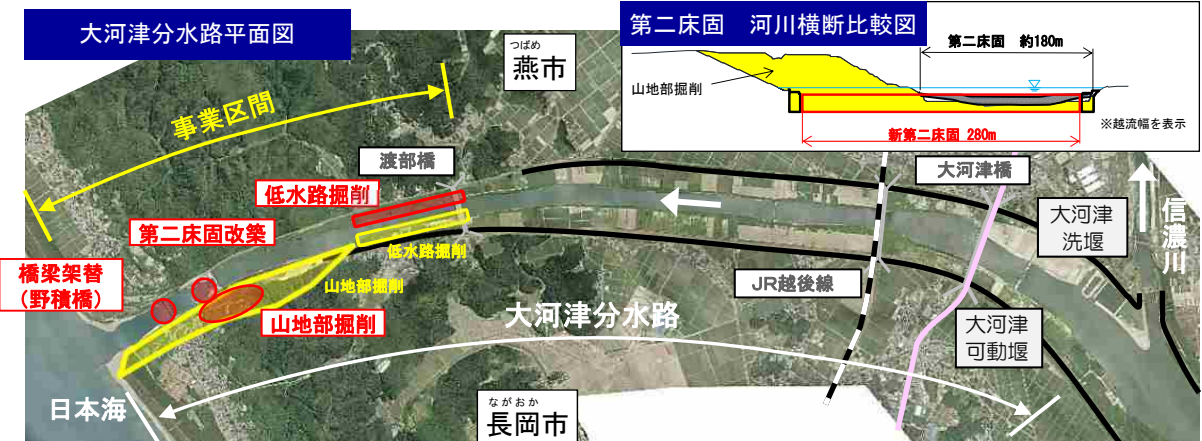
位置図

大河津分水路の状況（令和元年東日本台風）



第二床固副堰堤付近の状況
（令和元年10月13日16時頃）

JR越後線信濃川分水橋梁付近の状況
（令和元年10月13日12時頃）



信濃川下流 環境整備 水辺整備の推進 新潟県新潟市（やすらぎ堤地区）

R2事業費
349百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR2全体事業費

事業の概要

信濃川水系信濃川の本川下流では、人口・資産が集中する新潟市中心市街地を貫流するため、洪水防御に加え地震時の堤防の安定性を図るため、5割勾配の緩傾斜堤（やすらぎ堤）の整備を行っています。

これまでも「やすらぎ堤」では各種イベント開催も含めて多くの市民に利用されていますが、さらなる水辺の賑わい創出を目指す取り組みが展開されており、また新潟市との連携による「かわまちづくり支援制度」の登録も受けて、ソフト・ハード両面からの取り組みが進められています。

本事業では、まちづくりと一体となった治水及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行います。

整備効果

河川利用者の安全確保等のための整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を図ります。

令和2年度の事業内容

やすらぎ堤地区において、利用者の多いエリアの河川管理施設の整備（高水敷整正）を推進します。

・位置図



・平面図



・やすらぎ堤利用状況



国と市が連携を図るとともに、民間事業者による商業活動等と一体となって魅力的な水辺整備を推進

新潟海岸 侵食・越波対策の推進（金衛町工区）

新潟県新潟市

R2事業費
685百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のR2全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じた利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

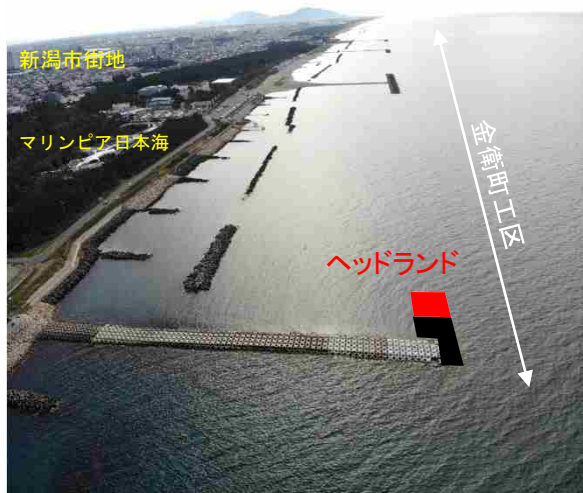
このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和2年度の事業内容

新潟市金衛町工区において、ヘッドランドの整備を推進します。



冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)

しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
にいがた みなみうおぬま こうだながわ
新潟県南魚沼市（高棚川砂防堰堤群）

R2事業費
968百万円

事業の概要

信濃川下流水系の魚野川流域は、平成23年7月の新潟・福島豪雨によって発生した多量の不安定な土砂や岩塊が、河床内に堆積・残存している土石流危険渓流であり、集中豪雨等によって再度災害が発生する危険性が高まっています。

このため、高棚川砂防堰堤群では、過去の出水等による既設砂防堰堤の損壊状況等を踏まえ、新設の砂防堰堤群を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫が発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の集落や国道を土石流による直接被害から保全するだけでなく、信濃川下流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、南魚沼市を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

長崎地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



【保全対象】
南魚沼市・長崎地区
国道291号、道路、公園、民家 など



既設林道の被災状況(H23年7月 新潟・福島豪雨)



既設砂防堰堤の異常堆砂状況



堰堤計画箇所

ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
にいがた いといがわ たなかがわ
新潟県糸魚川市（田中川砂防堰堤）

R2事業費
146百万円

事業の概要

ひめかわ
姫川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中でもこたきがわ
小滝川流域は上流域だけでなく個々の溪流についても荒廃が著しく、平成28年8月にたなかがわ
田中川で発生した土石流では下流側の電力施設が被災しました。

このため、田中川砂防堰堤では、新設の砂防堰堤を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の電力施設を土石流による直接被害から保全するだけでなく、こたきがわ
小滝川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるいといがわ
糸魚川市の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

こたきがわ
小滝地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



下流側の電力施設と砂防堰堤（整備中）との位置関係



位置図



下流域の保全対象（各種交通網）



H7姫川災害（流出したJR大系線）

いいでさんけい
飯豊山系直轄砂防事業の推進
にいがた ひがしかんばら あ が まち みずかみさわ
新潟県東蒲原郡阿賀町（水上沢砂防堰堤）

R2事業費
143百万円

事業の概要

いいでさんけい あ が の がわ
飯豊山系の阿賀野川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中でも、さねかわ まとりがわ
実川及び馬取川流域は土石流の到達が想定される範囲に人家等の保全対象が存在する土石流危険溪流（土砂災害警戒区域）が多数存在しており、迅速かつ計画的に対策工を実施する必要があります。

このため、みずかみさわ みずかみさわ
水上沢砂防堰堤では、水上沢集落近傍の溪流に関する土砂等の堆積状況等を踏まえ、新設の砂防堰堤を整備することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出も抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、近傍の集落を土石流による直接被害から保全するだけでなく、まとりがわ あ が まち
馬取川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、阿賀町を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

あらさわ
荒沢地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



S42年8月 羽越災害時に馬取川の土砂・洪水氾濫で倒壊寸前の人家



【保全対象】荒沢(水上沢)集落 人家6戸、公民館1箇所 等



砂防堰堤の計画箇所

国道7号 朝日温海道路事業の推進

新潟県村上市・山形県鶴岡市

R2事業費
※10,100百万円

※R2事業費は北陸地方整備局分のみ記載

事業の概要

「日本海沿岸東北自動車道」朝日温海道路は、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした道路整備事業であり、新潟県内においては村上市川端から山形県境間の延長約34.1kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・周遊性の向上による観光振興、地域産業の活性化

令和2年度の事業内容

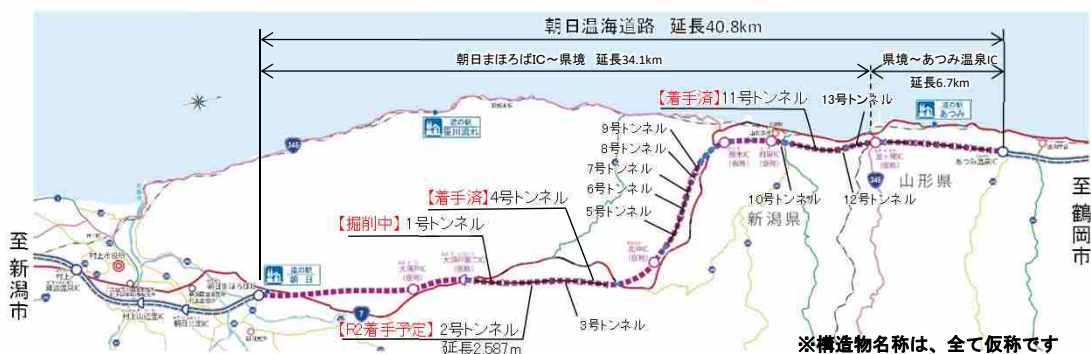
現在、用地買収、改良工事、1号、4号、11号トンネル及び橋梁工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き用地買収、改良工事、トンネル及び橋梁上下部工事を推進するとともに、当事業において最大規模のトンネルである2号トンネルや国道7号を跨ぐ大須戸川橋下部工事に着手する予定です。

トンネルの施工は、複数のトンネルを同時に掘削していく計画であり、4号トンネル及び連続する3号トンネルは、間に搬入路がないことから、順に工事を進める計画です。これらの連続するトンネルは開通に向けた事業工程に直接影響する構造物です。

なお、4号、3号トンネルの完成には概ね10年※程度の期間を要する見込みであり、これらのトンネルの進捗により開通への目処が立つ見込みです。

※地質状況により変更となる場合があります。



▲ 1号トンネルの施工状況
約8割掘削(約790m/1,007m)
脆弱な地山のため慎重に工事を推進

国道7号 栗ノ木道路事業の推進

新潟新潟市

R2事業費
1,330百万円

事業の概要

栗ノ木道路は、一般国道7号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を図ることを目的とした、新潟市中央区沼垂東二丁目から同区鏡に至る約1.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減
- ・中心市街地へのアクセス向上およびまちづくり支援

令和2年度の事業内容

現在、立体道路整備にむけて必要となる用地買収や改良工事（地表道路整備）、栗ノ木川の付け替え工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き用地買収、改良工事（地表道路整備）、栗ノ木川付替工事を推進し、早期立体道路整備に向け事業を推進します。



栗ノ木道路・紫竹山道路の整備の進め方

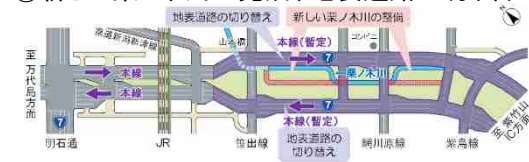
現在: ①栗ノ木川の付け替え



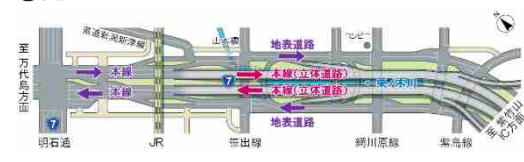
③立体道路(高架橋)の整備



②新しい栗ノ木川の完成、地表道路の切り替え



④完成



国道8号 ^{かしわぎ} 柏崎バイパス事業の推進

^{にいがた} ^{かしわぎ}
新潟県柏崎市

R2事業費
2,500百万円

事業の概要

^{かしわぎ} 柏崎バイパスは、一般国道8号の^{かしわぎ} 柏崎市街地における交通渋滞の緩和と都市内交通の円滑化を目的とした、^{かしわぎ} 柏崎市大字長崎から同市大字^{くじらなみ} 鯨波に至る延長約11.0kmのバイパス整備事業です。

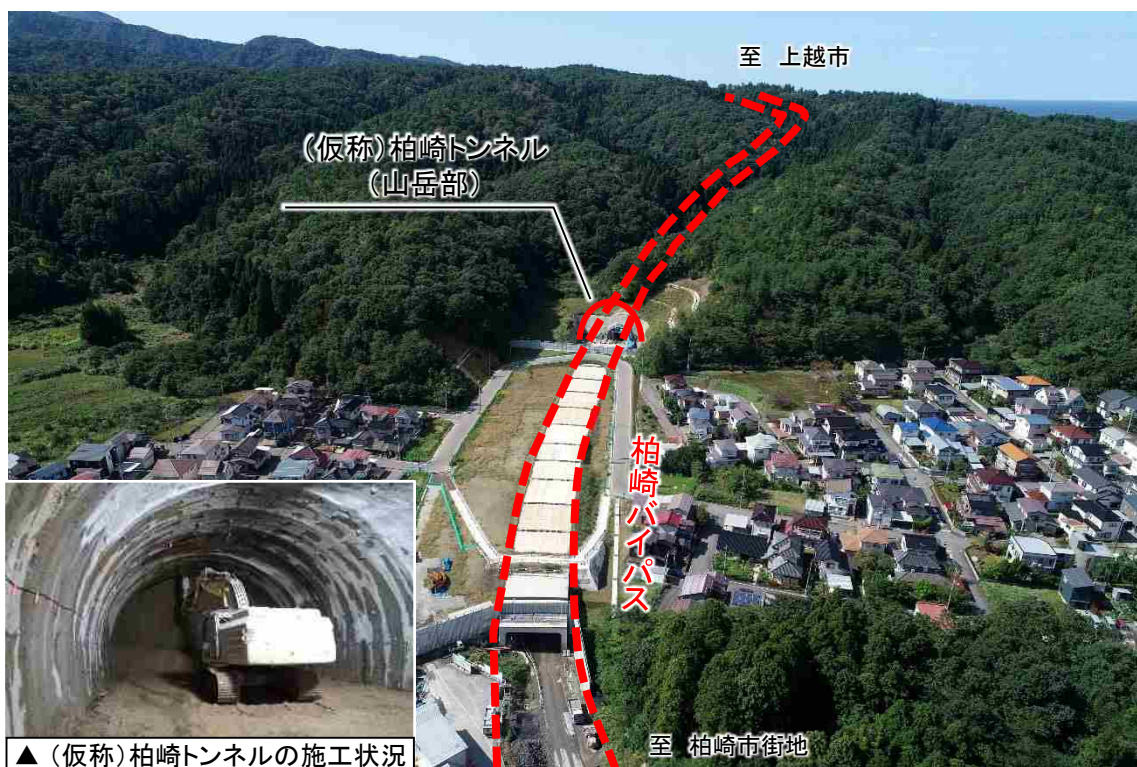
整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成

令和2年度の事業内容

現在、^{かしわぎ} 柏崎市城東から同市^{くじらなみ} 鯨波間では、（仮称）^{かしわぎ} 柏崎トンネル（山岳部）工事を推進しています。（仮称）柏崎トンネル（山岳部）は、約9割（約950m/1,128m）まで掘削が進んでいますが、軟弱な地山であることから慎重に工事を進めています。（令和2年3月末時点）

令和2年度は、引き続き（仮称）柏崎トンネル（山岳部）の早期完成に向けて工事を推進するとともに、^{ひがしはらまち} 東原町から^{いばらめ} 茨目間にてトンネル掘削土を活用する改良工事（盛土）を推進し、早期開通に向けて事業を推進します。



▲（仮称）柏崎トンネルの施工状況

国道17号 浦佐バイパス事業の推進

新潟県南魚沼市・魚沼市

R2事業費
1,050百万円

事業の概要

浦佐バイパスは、一般国道17号の南魚沼市から魚沼市間における冬期交通障害区間の解消を目的とした南魚沼市市野江甲から魚沼市虫野に至る延長約6.6kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 冬期交通障害の解消
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 第3次救急医療機関へのアクセス向上

令和2年度の事業内容

現在、魚沼市大浦から同市虫野間では、令和元年9月に（仮称）虫野トンネルが貫通し、完成にむけて改良工事を推進しています。
南魚沼市市野江甲から同市浦佐間では、（仮称）新浦佐大橋の下部工事にかかる基盤整備を推進しています。

令和2年度は、魚沼市大浦から同市虫野間の令和3年内の開通に向けて、改良工事を推進するとともに、（仮称）新浦佐大橋下部工事を推進し、早期全線開通に向けて事業を推進します。



▲（仮称）虫野トンネルの施工状況

国道49号 ^{すいばら}水原バイパス事業の推進

^{にいがた}新潟県 ^{あがの}阿賀野市

R2事業費
2,000百万円

事業の概要

^{すいばら}水原バイパスは、一般国道49号の^{あがの}阿賀野市街地における交通渋滞の緩和および道路交通の安全・円滑化を目的とした、^{あがの}阿賀野市^{じしや}寺社から同市^{しもくろせ}下黒瀬に至る延長約8.1kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和および交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 地域産業・観光の活性化

令和2年度の事業内容

現在、全6箇所の橋梁のうち2橋が完成しており、2橋の下部工事及び2橋の上部工事を推進するとともに、全区間で改良工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き改良工事を推進するとともに、残る2橋の上部工事に着手し、令和4年夏迄の開通に向けて事業を推進します。



▲盛土工事にICT技術を活用

国道253号 上越三和道路事業の推進

じょうえつさんわ
にいがた じょうえつ
新潟県上越市

R2事業費
2,010百万円

事業の概要

上越三和道路は、冬期を含めた安全性・信頼性を確保するとともに、高規格幹線道路との連携により広域的な交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与することを目的とした、上越市寺から同市三和区本郷に至る道路整備事業です。

整備効果

- ・ 広域的な地域の連携強化・活性化
- ・ 冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保
- ・ 第3次医療救急機関へのアクセス性向上

令和2年度の事業内容

上越三和道路は、平成31年3月に寺ICから鶴町IC間が開通し、令和元年11月には門田新田ICが開通しました。

上越三和道路の事業地内は、深さ約60mにわたる軟弱地盤が分布し、全線にわたって軟弱地盤対策（地盤改良）が必要となります。現在、鶴町ICから（仮称）三和IC間においても軟弱地盤対策などの改良工を推進しています。

令和2年度は、引き続き軟弱地盤対策などの改良工を推進し、早期開通に向けて事業を推進します。



はちじゅうり ごえ **国道289号 八十里越事業の推進** にいがた さんじょう ふくしま みなみあいづ ただみ **新潟県三条市～福島県南会津郡只見町**

R2事業費
2,800百万円

事業の概要

八十里越は、一般国道289号のにいがた ふくしま新潟・福島県境における通行不能区間の解消を目的とした、にい新潟県三条市塩野瀬からふくしま みなみあいづ ただみ福島県南会津郡只見町に至る延長約11.8kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・通行不能区間の解消
- ・救急医療施設へのアクセス向上

令和2年度の事業内容

現在、大規模構造物のうち、2箇所の橋梁と3箇所のトンネルで工事を推進するとともに、地すべり対策などの改良工事を推進しています。

なお八十里越は、急峻な山岳地かつ豪雪地域という厳しい現場条件※であるため、大規模な地すべり対策や大規模構造物の工事を慎重に進めています。

令和2年度は、引き続き橋梁上下部工事、トンネル工事、地すべり対策工事などの改良工事を推進するとともに、新たに1橋梁に着手し早期開通に向けて事業を推進します。

※豪雪地域であるため工事期間に制約があり、急峻な地形であるため工事の搬入路などに制約があります。



■八十里越 大規模構造物の進捗状況

	全数	うち完成	令和2年度 実施	未着手
橋梁	10箇所	6箇所	3箇所 (うち新規着手1箇所)	1箇所
トンネル	11箇所	8箇所	3箇所	—



▲ 地すべり対策施工状況

にいがた にしこう
新潟港 西港区
航路浚渫事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
3,280百万円

事業の概要

にいがた にしこう
新潟港西港区は、離島航路や長距離フェリーが発着するなど、人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

船舶の安定運航を確保するため、航路泊地の浚渫事業を推進します。

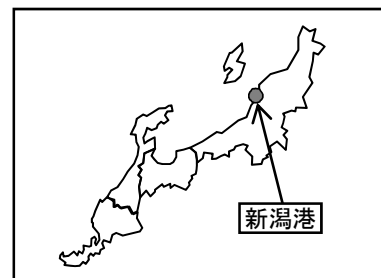
整備効果

船舶の安定運航が確保されます。

令和2年度の事業内容

航路泊地の整備を推進します。

【位置図】



にいがた にしこう
新潟港 西港区
臨港道路改良事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
1,698百万円

事業の概要

にいがた にしこう
新潟港西港区は、離島航路や長距離フェリーが発着するなど、人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

いりふね
臨港道路入舟臨港線において、重要インフラの緊急点検結果を踏まえ、冠水対策機能の強化を図るため、臨港道路の改良を緊急対策として実施します。

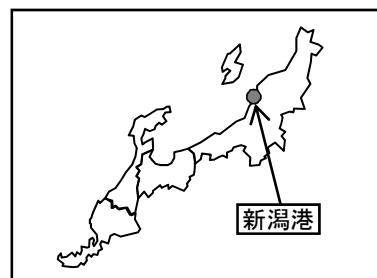
整備効果

臨港道路の改良により、災害時に臨港道路の機能が停止することを防止します。

令和2年度の事業内容

道路(トンネル)の改良を推進します。

【位置図】



新潟港 西港区

道路(トンネル)(改良)

信濃川

にいがた にしかいがん
新潟港海岸 西海岸地区
直轄海岸保全施設整備事業の推進
にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
1,125百万円

事業の概要

にいがた にしかいがん
新潟港海岸西海岸地区では、背後地域の土地や資産を防護するため、離岸堤＜潜堤＞、突堤、護岸＜養浜＞を組み合わせた面的防護工法により、侵食対策を推進します。

整備効果

背後地域の侵食・浸水被害に対する安全が確保されます。

令和2年度の事業内容

ようひん
護岸＜養浜＞の整備を推進します。

【位置図】



新潟港海岸 西海岸地区



にいがた
新潟空港

滑走路端安全区域整備の推進

にかっそうろたん
にいがた にいがた
新潟県新潟市

R2事業費
582百万円

事業の概要

航空機運航の安全性を高めるため、B滑走路の両端に滑走路端安全区域を整備します。

整備効果

滑走路端安全区域を整備することにより、航空機が離着陸する際に滑走路を越えて走行し停止する「オーバーラン」又は、航空機が着陸時に滑走路手前に着地してしまう「アンダーシュート」を起こした場合に、航空機の損傷を軽減し、人命の安全を図ります。

令和2年度の事業内容

滑走路端安全区域をB滑走路の両端に確保するために、滑走路移設、用地造成等を推進します。

【位置図】



新潟空港



えちごきゅうりょう 国営越後丘陵公園の整備推進

にいがた ながおか
新潟県長岡市

R2事業費
1,016百万円

事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、平成30年6月までに「里山フィールドミュージアム」の一部（全体約280haの内、西側部分約220ha）を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成27年度は過去最高の55万人を記録するとともに、平成24年以降年間約50万人の入園者数を記録しています。

また、災害時の避難地確保や自衛隊との協定による救援活動の場の確保など広域的な防災拠点として地域防災力強化に寄与しています。

令和2年度の事業内容

里山フィールドミュージアムの未開園エリアにおいて、園路整備等を推進します。



新井郷川（福島潟）大規模特定河川事業の推進

新潟県新潟市・新発田市

R2事業費
1,860百万円

事業の概要

一級河川阿賀野川水系福島潟周辺では、平成10年8月洪水により甚大な被害を受け、上流部・下流部は災害復旧助成事業等により整備が進みましたが、中流部に位置する福島潟の整備は途上段階にあり、上流の流量増や福島潟の水位上昇に対する対策が未だ十分ではないことから、河道掘削や築堤等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

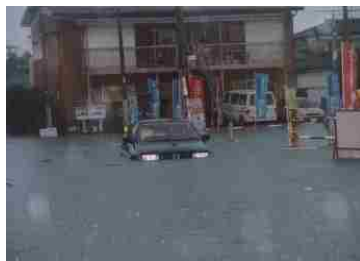
整備効果

平成10年8月洪水と同規模洪水に対して福島潟に流入する外水による浸水被害の軽減を図ります。

令和2年度の事業内容

新潟市および新発田市に位置する福島潟において、河道掘削や水門整備等を推進します。

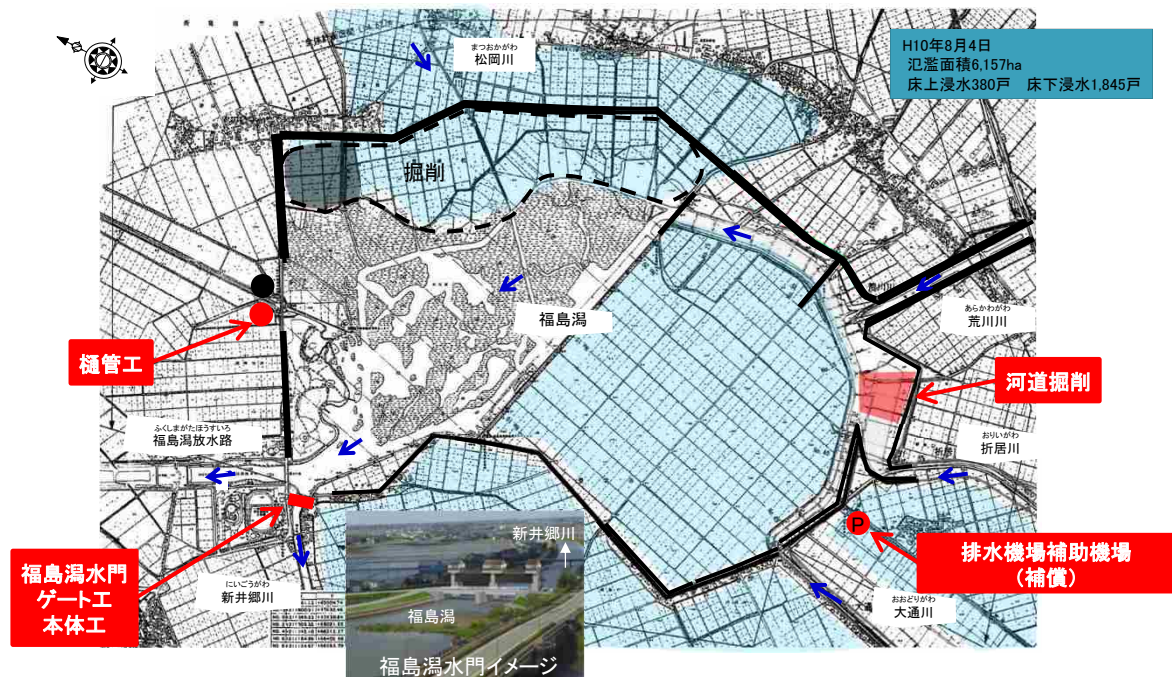
位置図



新潟市北区(旧豊栄市白新町)の浸水状況(H10.8)



新発田市(旧豊浦町天王)の浸水状況(H10.8)



鵜川^{うかわ}ダム建設事業の推進

にいがた かしわざき
新潟県柏崎市

R2事業費
3,347百万円

事業の概要

鵜川^{うかわ}ダム建設事業は、ダム下流域である柏崎市の洪水被害軽減を図るための「洪水調節」、及び「流水の正常な機能の維持」を目的としています。

整備効果

ダム地点において毎秒110m³の洪水調節を行い、流域の洪水被害の軽減を図ります。
また、流水の正常な機能の維持を図ります。

令和2年度の事業内容

令和2年度は、ダム本体工事等を推進します。



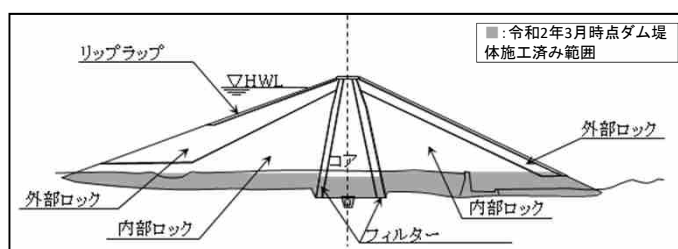
鵜川ダム完成予想図



ダム本体施工状況（令和元年12月撮影）



航空写真（左岸よりダムサイトを臨む 令和元年11月撮影）



標準横断面

〔地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路〕

国道 253 号 三和安塚道路事業の推進

にいがた じょうえつ
新潟県上越市

R2事業費
1,161百万円

事業の概要

上越魚沼地域振興快速道路は、上越地域と魚沼地域を連絡し、広域ネットワークの形成を図る極めて重要な幹線道路です。

三和安塚道路は、物流の効率化、現道の狭小幅員、主要渋滞箇所の解消及び地域間交流の支援を目的とした道路であり、上越市三和区広田から同市安塚区松崎間の延長約 9.4 km の事業です。

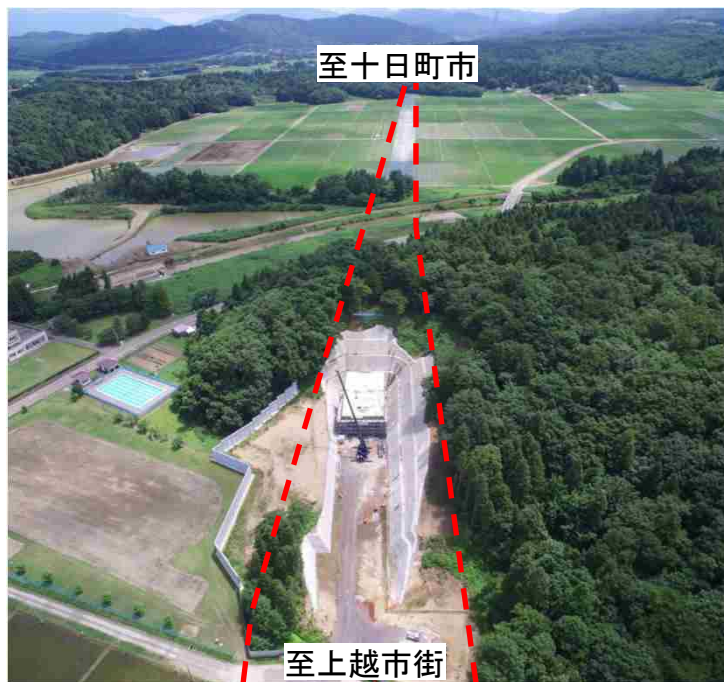
整備効果

- ・北陸新幹線駅（上越妙高駅）及び重要港湾（直江津港）へのアクセス向上
- ・冬期も含めた災害に強い道路ネットワークの形成
- ・緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上

令和 2 年度の事業内容

現在、上越市三和区広田～上越市浦川原区山本間の延長約 4.7 km 間において、開削トンネル工事、橋梁工事を推進するとともに、全線で改良工事を推進しています。

令和 2 年度は、引き続き開削トンネル工事、橋梁工事を推進するとともに、山岳トンネル工事に着手します。



[スマート I Cアクセス道路]

新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）事業の推進

新潟県新潟市

R2事業費
2,137百万円

事業の概要

新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）は、多核連携型の新潟都市圏を環状に連絡する主要幹線道路であり、北陸自動車道黒埼スマート I Cの機能強化に合わせ、物流の効率化、救命ネットワーク等の構築を目的とした道路であり、新潟市南区上塩俵～同市西区明田間の延長約5.8 kmを整備する事業です。

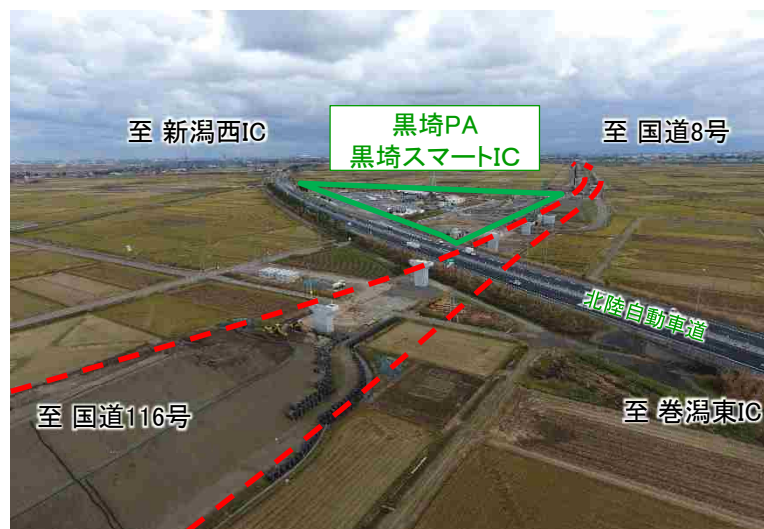
整備効果

- ・ 黒埼スマート I Cと工業団地などを接続し、新たな物流軸の構築による成長産業の育成・地域の活性化を支援
- ・ 災害時における円滑な交通を確保し、地域拠点間の連携と強靱化を推進
- ・ 救急・救命・救助活動の30分圏域のカバー率を拡充
- ・ 西区・西蒲区・南区に点在する、歴史・文化・観光資源の価値と魅力を繋ぐネットワークを構築

令和2年度の事業内容

現在、南区上塩俵から西区明田間の開通済み0.7 kmを除く延長5.1 kmにおいて、全線で改良工事を推進するとともに、全4橋のうち1橋が完成し、北陸自動車道を跨ぐ橋梁で橋梁下部工を推進しています。

令和2年度は、引き続き改良工事を推進するとともに、3橋の橋梁上下部工事を推進します。



施工状況（黒埼工区）

ひめかわ にしふとう
姫川港 西ふ頭地区
国内物流ターミナル整備事業の促進
にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

R2事業費
706百万円

事業の概要

ひめかわ
姫川港は、背後地域における国内物流の拠点として重要な役割を担っています。
船舶の大型化への対応のため、国内物流ターミナルの整備を促進します。

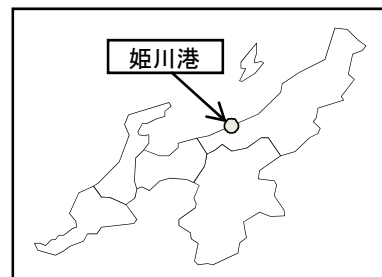
整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

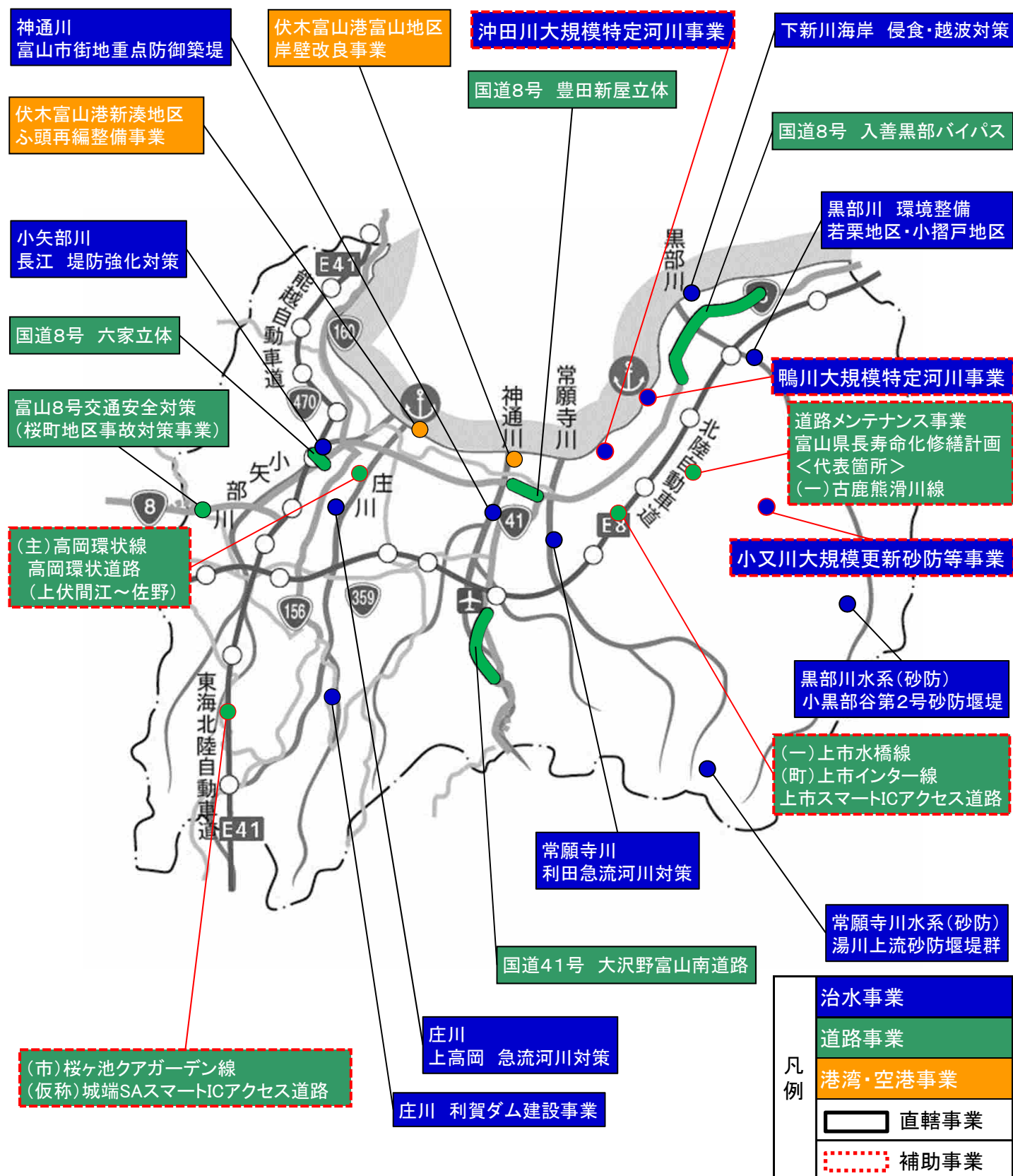
令和2年度の事業内容

岸壁の整備を促進します。

【位置図】



富山県内の主要事業



とやま
富山 8 号交通安全対策事業
さくらまち
(桜町地区事故対策事業) の新規事業化
とやま おやべ
富山県小矢部市

R2事業費
3百万円

事業の概要

当該箇所は、あいの風とやま鉄道石動駅にアクセスする県道との交差点を含み、近傍沿線には大型商業施設があり、交通量の多い区間です。当該箇所の山間部では、急勾配（4.8%）区間があるため、高岡市へ向かう下り勾配区間では速度超過による前方車両の減速・停止に対応できない事故が多発し、津幡町へ向かう上り勾配区間では、速度低下による滞留が発生しており、冬期の登坂不能危険箇所となっています。

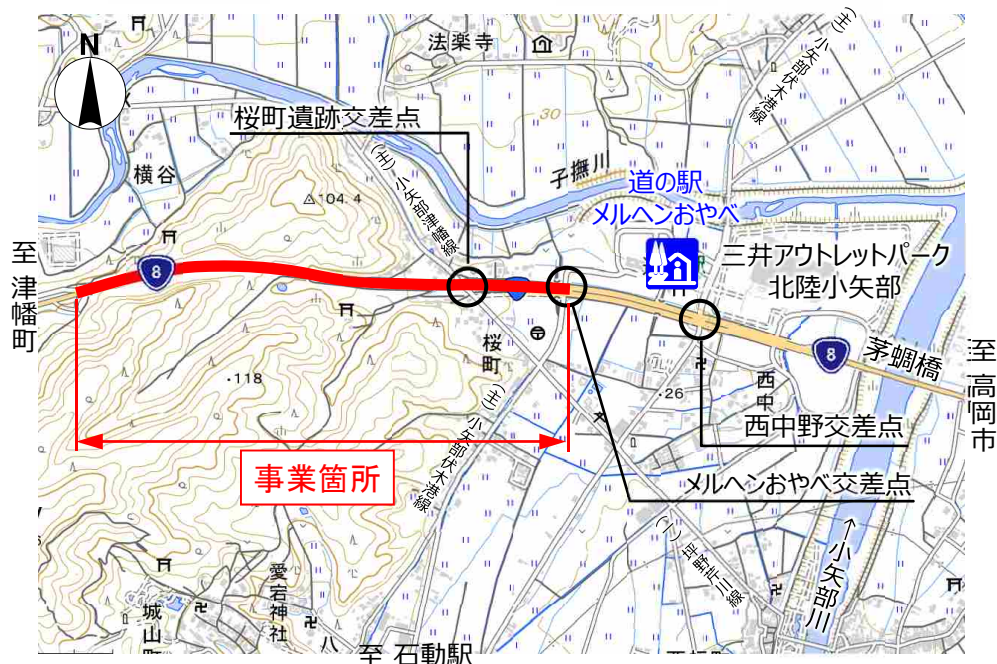
本事業は、交差点改良（左折車線設置）による直進車両阻害を低減する対策や、付加車線設置による登坂不能車の通行阻害を防止する対策を行い、交通の安全性を確保する事業です。

整備効果

付加車線の設置等による事故の防止

令和2年度の事業内容

令和2年度に新規事業化し、調査設計を実施します。



おきたがわ
沖田川大規模特定河川事業の推進
とやま なめりかわ
富山県滑川市

R2事業費
100百万円

事業の概要

なかがわ おきたがわ なめりかわ
中川水系沖田川は、滑川市内の住宅密集地を流下する二級河川であり、河幅が狭いことから平成24年豪雨による洪水等で甚大な被害が発生しました。このため、放水路整備、護岸工を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

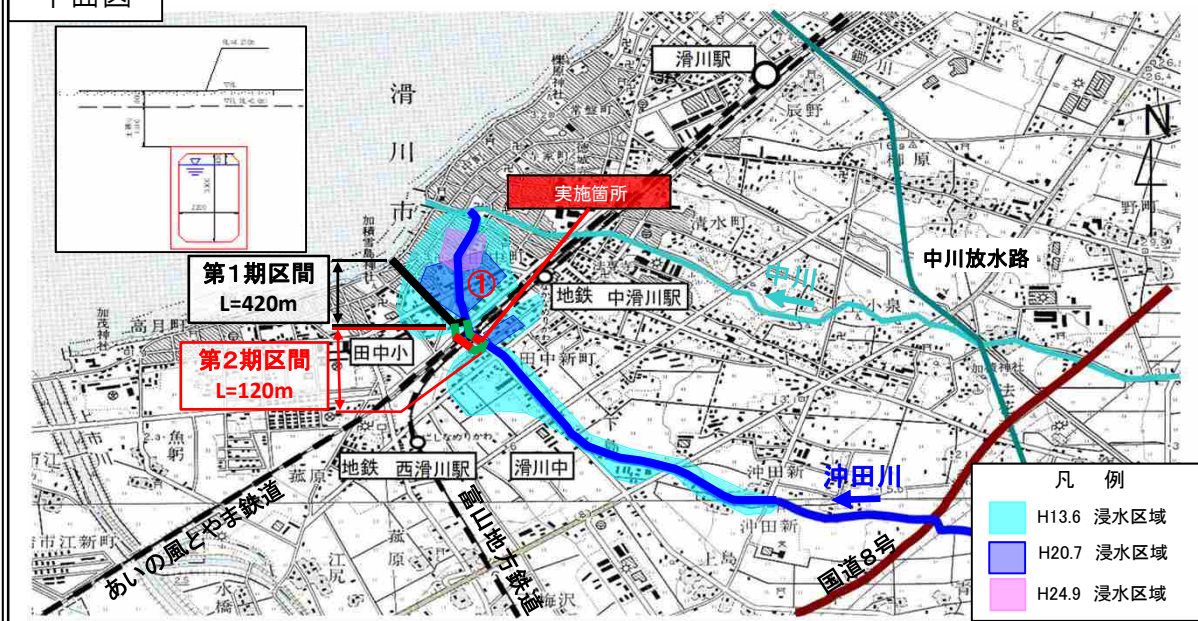
放水路整備や護岸工の実施により、治水安全度の向上を図ります。

令和2年度の事業内容

なめりかわ しもじま
滑川市下島外地内において、放水路の整備に向けた用地補償や、護岸工の整備を行います。



平面図



おまたがわ
小又川大規模更新砂防等事業の推進
とやま なかにいかわ かみいちまち
富山県中新川郡上市町

R2事業費
100百万円

事業の概要

二級早月川水系小又川に位置する小又1号堰堤は、昭和52年よりも以前の基準により設計されたコンクリート堰堤であり、土石流に対する安全性が確保されておらず、損傷も確認されています。豪雨の際には下流の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、小又1号堰堤の改築を集中的に実施することにより、早期に地域の安全度の向上を図ります。

整備効果

小又1号堰堤の改築を実施し、降雨等に起因する土石流や下流への土砂流出の防止を図り、保全対象である県道や鉄道、人家等への被害を軽減します。

令和2年度の事業内容

小又1号堰堤の改築を実施します。



副堤水通し天端摩耗



本堤水通し天端摩耗



本堤遊離石灰・ひび割れ

[スマートICアクセス道路]

(市) 桜ヶ池クアガーデン線事業の新規事業化

とやま なんと
富山県南砺市

R2事業費

10百万円

事業の概要

市道桜ヶ池クアガーデン線は、東海北陸自動車道（仮称）城端SAスマートICの整備と合わせて地域の経済活動の支援、地域間交流の支援を図ります。

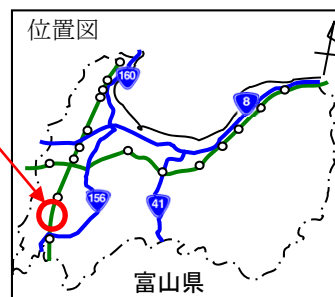
整備効果

- ・観光の活性化や交流人口の増加
- ・南砺市「応援消防機関の活動拠点」である城端SAを拠点とする救護活動、物流輸送の効率化

令和2年度の事業内容

令和2年度より、新規事業に着手し、調査設計を推進します。

(市) 桜ヶ池クアガーデン線



事業箇所

[道路メンテナンス事業]

とやま
富山県長寿命化修繕計画の推進

とやま
富山県

R2事業費
7,852百万円

事業の概要

(代表事例)

ふるかくなめりかわ とやま うおづ ふるかくま なめりかわ いりあいばし
一般県道古鹿熊滑川線は、富山県魚津市古鹿熊から同県滑川市中心部へ至る路線です。入会橋は当該路線に架かる橋梁であり、昭和41年（橋齢53年）の架橋から老朽化が進行しており、長寿命化修繕計画（平成29年3月）における要修繕箇所であることから、補修工事を行い、安全で信頼性の高い道路ネットワークづくりを進めます。

整備効果

- ・安心・安全な通行の確保
- ・なめりかわ
滑川市中心部へのアクセス向上

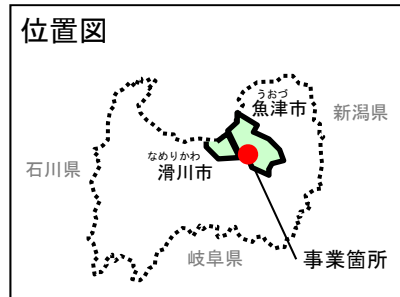
令和2年度の事業内容

現在、長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を推進しています。

令和2年度は、橋梁下部工事に着手します。



損傷状況 橋脚のひび割れ



至 滑川市



至 魚津市



施工状況（橋梁下部工事）

常願寺川 利田 急流河川対策 の推進

とやま なかにいかわ たてやままち
富山県中新川郡立山町

R2事業費
160百万円※

※:常願寺川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

常願寺川は、富山市・立山町を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

このため、常願寺川特有の急流河川の洪水時の強大なエネルギーに対し、洗掘、侵食に対する安全度が低く、なおかつ背後資産の大きい箇所に対して、急流河川対策（侵食対策）を行います。

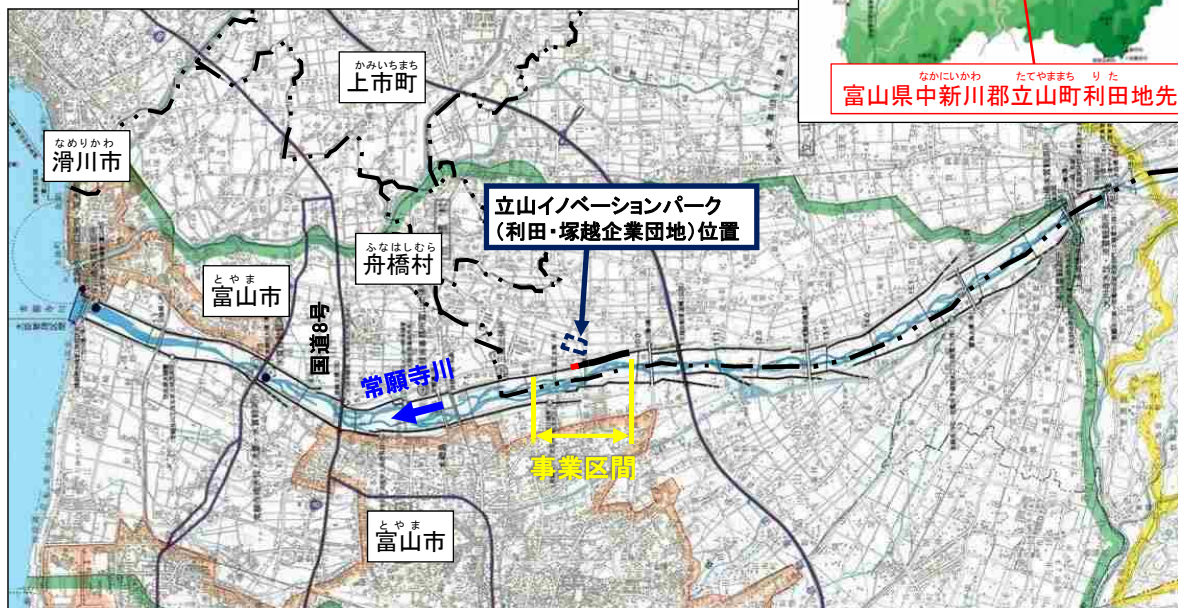
整備効果

急流河川対策（侵食対策）を推進することで、常願寺川流域の治水安全度を向上させます。

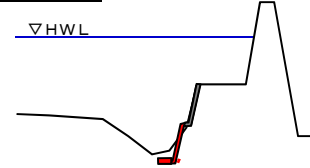
令和2年度の事業内容

利田地区の急流河川対策（侵食対策）を推進します。

位置図



標準横断面図



急流河川対策（侵食対策）

じんづうがわ
神通川

とやま

富山市街地重点防御築堤事業

の推進

とやま とやま
富山県富山市

R2事業費
1,801百万円※

※：神通川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

神通川は県都富山市を貫流する河川であり、特に富山市の安野屋地区は背後地に市街地・公共施設・主要交通網（新幹線・鉄道・国道・主要地方道等）を抱える重要な地域となっています。

このため、当該地区が堤防の決壊による洪水氾濫が発生した場合には、富山市街地等が浸水し、甚大な被害になることが予想されます。

一方、当該地区は、堤防の高さや幅が不足している弱小堤区間になっています。また、神通川は急流河川であるため、洪水の流れが強く、堤防の侵食を受けやすいことから、これらの要因によって堤防が決壊に至る危険があります。

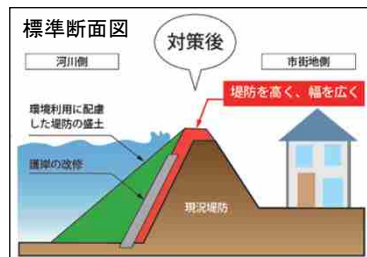
このため、堤防整備（嵩上げ、拡幅）及び侵食対策（護岸整備）を推進します。

整備効果

堤防整備及び侵食対策を推進することで、神通川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

安野屋地区の堤防整備及び侵食対策（護岸整備）を推進します。



しょうがわ
庄川

かみたかおか
上高岡

急流河川対策 の推進

とやま たかおか
富山県高岡市

R2事業費
397百万円※

※：庄川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

庄川は、富山、砺波平野及び射水平野を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

このため、庄川特有の急流河川の洪水時の強大なエネルギーに対し、洗掘、侵食に対する安全度が低く、なおかつ背後資産の大きい箇所に対して、急流河川対策（侵食対策）を行います。

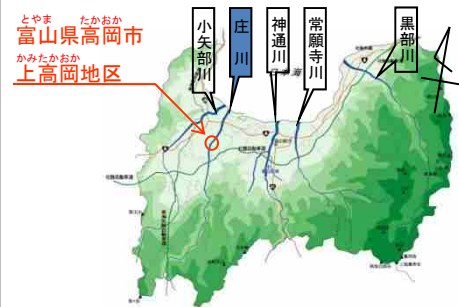
整備効果

急流河川対策（侵食対策）の推進により、庄川流域の治水安全度を向上させます。

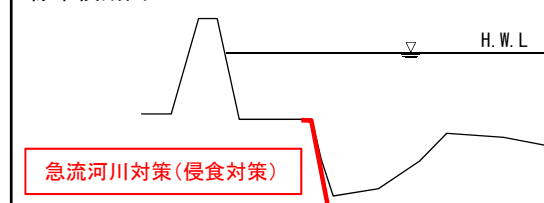
令和2年度の事業内容

上高岡地区の急流河川対策（侵食対策）を推進します。

位置図



標準横断面図



おやべがわ
小矢部川

ながえ
長江

とやま たかおか
富山県高岡市

堤防強化対策の推進

R2事業費
260百万円※1

※1: 小矢部川河川改修事業のR2全体事業費

事業の概要

小矢部川は蛇行河川であり、過去から氾濫を繰り返してきた河川のため、現況堤防の下が旧河道である箇所も多く、すべり、パイピングの恐れのある箇所が多く存在します。当該箇所は、浸透とパイピングで共に危険と判断された箇所であり、洪水を安全に流すことができない状態にあります。

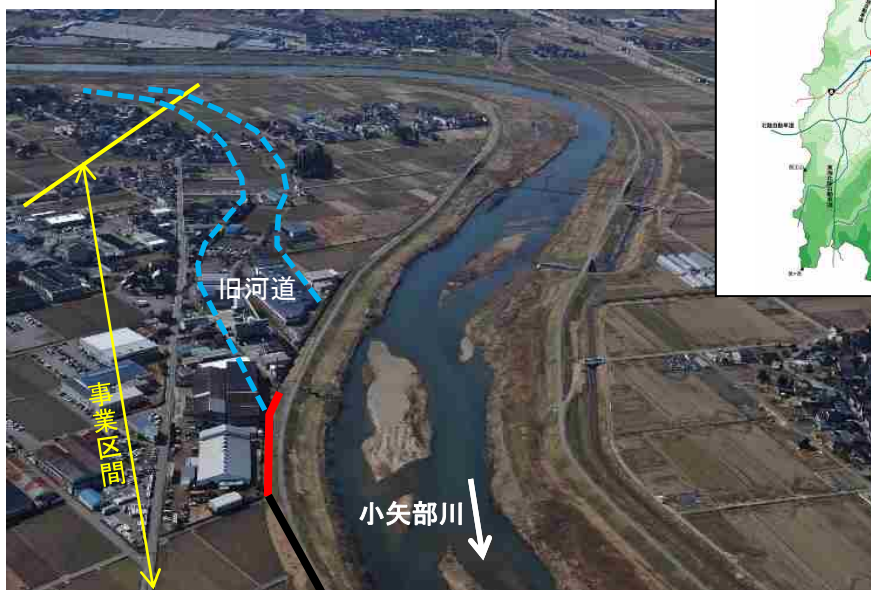
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※2)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防強化対策(浸透対策)を推進します。

整備効果

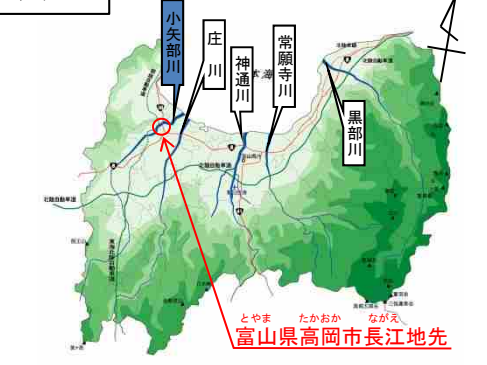
堤防強化対策(浸透対策)の推進により、小矢部川流域の治水安全度を向上させます。

令和2年度の事業内容

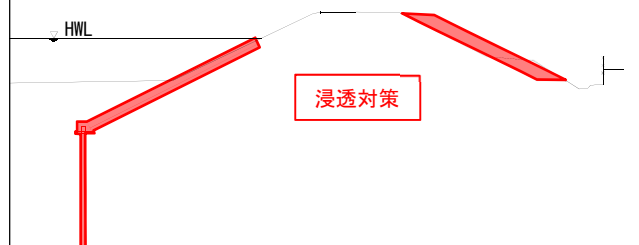
長江地区の堤防強化対策(浸透対策)を推進します。



位置図



標準断面図



※2: 「水防災意識社会 再構築ビジョン」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

とが 利賀ダム建設事業

とやま なんと 富山県南砺市

R2事業費
3,056百万円

事業の概要

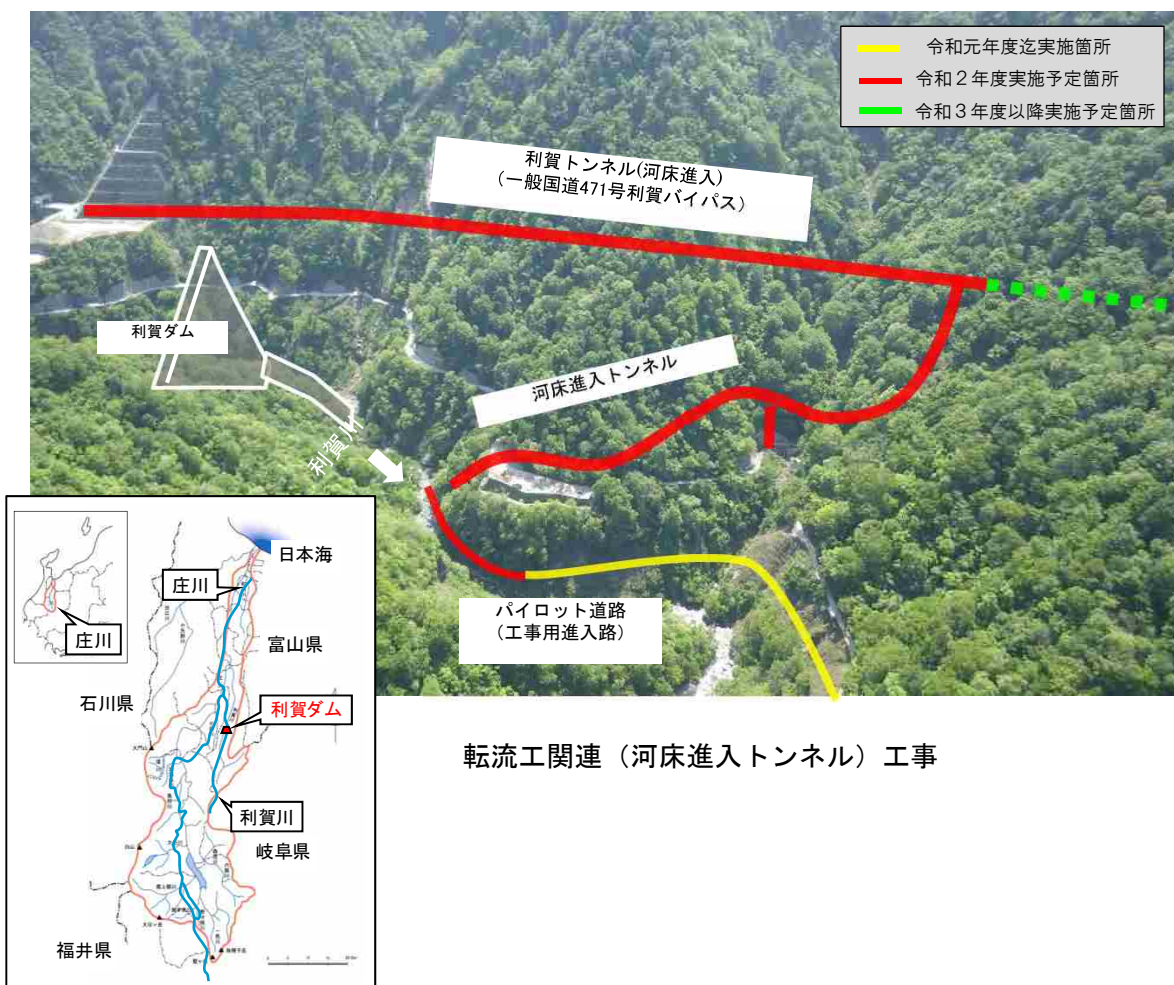
庄川は、これまで幾度も洪水が発生し甚大な被害が発生しています。また、発電、かんがい、工業用水などの水源として広く利用されていますが、しばしば渇水の被害が発生しています。

そのため、庄川の支川である利賀川に、「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、「工業用水」を目的とした多目的ダムである利賀ダムの建設を、平成5年度より進めています。

- 目的
 - ・洪水調節（庄川の洪水防御（富山県の5市））
 - ・流水の正常な機能の維持
 - ・工業用水の供給（富山県企業局：8,640m³/日（0.1m³/s））
- 諸元 堤高：112m、総貯水容量：3,110万m³
- 経緯
 - 平成元年度 実施計画調査着手
 - 平成5年度 建設事業着手
 - 平成28年度 ダム検証対応方針「継続」（平成28年8月）

令和2年度の事業内容

転流工関連工事、工事用道路工事 等を実施する予定です。



くろべがわ
黒部川 環境整備 自然再生の推進
とやま くろべ しもにかわ にゅうぜんまち わかぐり こすりど
富山県黒部市・下新川郡入善町（若栗地区・小摺戸地区） R2事業費
36百万円※

※黒部川総合水系環境整備事業のR2全体事業費

事業の概要

黒部川は、かつて急流河川特有の植生や魚類が多く生息する豊かな自然環境を有していたが、みお筋の固定化や河道内の二極化の進行により礫河原や瀬・淵等の多様な河川環境が減少しています。

本事業は、河道掘削を行うことにより、礫河原再生、瀬の造成、淵の形成を実施し、多様な生物の生息・生育・繁殖環境の再生を図ります。

整備効果

多様な生物の生息・生育・繁殖環境の再生を進めることで、黒部川本来の自然環境の再生を図ります。

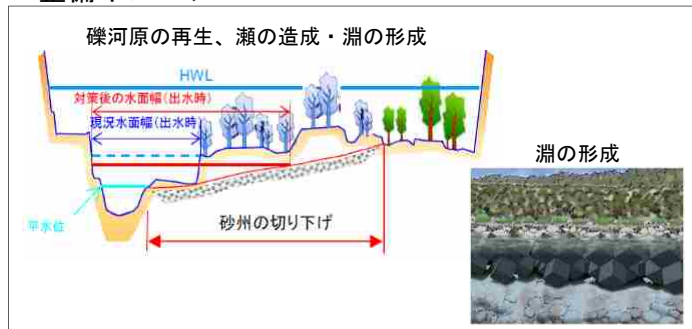
令和2年度の事業内容

若栗地区・小摺戸地区において、礫河原再生、瀬の造成、淵の形成を推進します。

・位置図



・整備イメージ



・整備済み箇所



・平面図



しもにいかわ 下新川海岸 侵食・越波対策の推進

いかり (五十里地区、他)

とやま しもにいかわ にゅうぜんまち
富山県下新川郡入善町

R2事業費
2,134百万円※

※下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業のR2全体事業費

事業の概要

しもにいかわ 下新川海岸は、とやま 富山湾特有の「よ まわ 寄り回り波」や「ふうろう 冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成20年2月24日の高波被害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

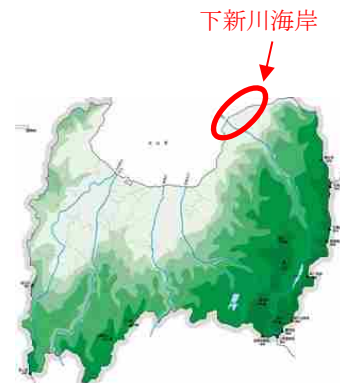
このため、離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設を整備することにより、背後の住宅等を越波、浸水から守ります。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和2年度の事業内容

にゅうぜんまち いかり 入善町五十里地区～しもいいの そのけ 下飯野(園家)地区において、副離岸堤の整備を推進します。



緩傾斜堤の被災状況(園家地区)(平成20年2月)

しょうがんじがわ
常願寺川水系直轄砂防事業の推進
 とやま とやま なかにいかわ たてやままち
富山県富山市・中新川郡立山町
 ゆかわ
(湯川上流砂防堰堤群)

R2事業費
 493百万円

事業の概要

しょうがんじがわ ゆかわ たてやま
 常願寺川水系の湯川流域には、立山カルデラの内壁を形成する火山噴出物由来の崩壊斜面が多数存在し、約150年前（安政5年）の大地震で大崩壊したとんびやまの土砂が、不安定な状態で河床内に大量に堆積しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生危険性が高まっています。

このため、ゆかわ たてやま ゆかわ
 湯川上流砂防堰堤群では、荒廃が著しい立山カルデラ内の本流である湯川上流本川に、計4基からなる砂防堰堤群を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫が発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、しょうがんじがわ
 常願寺川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象でありとやま富山県の地域経済と教育文化の中心地であるとやま富山平野の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

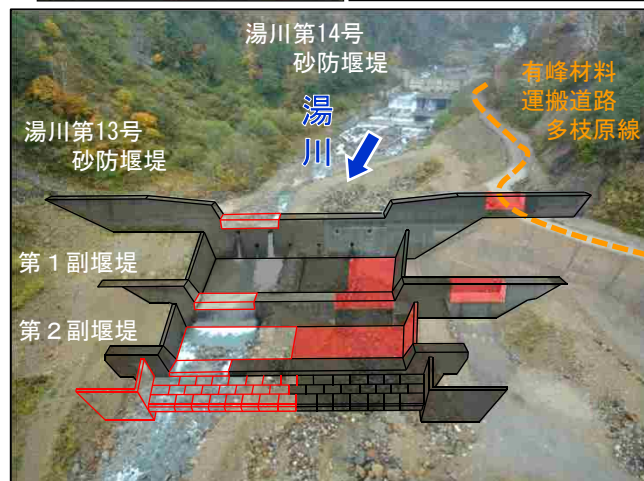
ゆかわ
 湯川上流域において、砂防堰堤工の整備を推進します。



下流域の保全対象(富山平野)



【保全対象】 富山平野、国道8号 など



くろべがわ
黒部川水系直轄砂防事業の推進
とやま くろべ こくろべだに
富山県黒部市（小黑部谷第2号砂防堰堤）

R2事業費
298百万円

事業の概要

黒部川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生危険性が高まっています。

この中で小黑部谷流域では、上流に大崩壊地が存在するほか、平成25年8月にも斜面崩壊が発生しており、河床内に不安定な大量の土砂が堆積しているため、今後、下流側に位置する宇奈月温泉等の観光施設や、関西圏域を支える電力施設に再度災害が発生してしまうことが懸念されます。

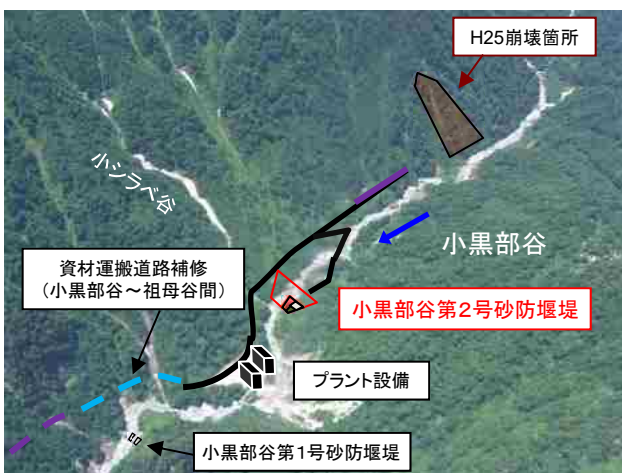
このため、小黑部谷第2号砂防堰堤では、過去からの斜面崩落等により荒廃が著しい小黑部谷に砂防堰堤を整備することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫が発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、小黑部谷流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、保全対象である黒部川沿線の観光・発電施設や、下流域の黒部市や入善町の安全と安心を確保します。

令和2年度の事業内容

黒部地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



H7年7月 土砂流出により発電施設が埋没



H7年7月 寸断された黒部峡谷鉄道黒薙線

国道8号 ^{にゅうぜんくろべ}入善黒部バイパス事業の推進

^{とやま} ^{しもにいかわ} ^{にゅうぜんまち} ^{くろべ} ^{うおづ}
富山県下新川郡入善町・黒部市・魚津市

R2事業費
1,450百万円

事業の概要

^{にゅうぜんくろべ}入善黒部バイパスは、一般国道8号の^{とやま}富山県入善町から^{うおづ}魚津市間における交通渋滞の緩和を目的とした、^{しもにいかわ}下新川郡入善町^{にゅうぜんまち}梶山から^{うおづ}魚津市^{えぐち}江口に至る延長約16.1kmのバイパス整備事業です。

整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・幹線ネットワークの充実強化
- ・沿道環境の改善

令和2年度の事業内容

現在、^{にゅうぜんまち}入善町上野から^{くぬぎやま}同町梶山に至る現道拡幅区間の4車線化に向けて、用地買収及び改良工事（現道拡幅工事）を推進しています。

令和2年度は、引き続き^{にゅうぜんまち}入善町上野から^{くぬぎやま}同町梶山に至る現道拡幅区間の用地買収及び改良工事（現道拡幅工事）を推進します。



▲上野地区横断ボックス施工状況

国道8号 豊田新屋立体事業の推進

富山県富山市

R2事業費
2,900百万円

事業の概要

豊田新屋立体は、一般国道8号の富山市内における交通渋滞の緩和、交通事故の削減、幹線道路ネットワークの強化を目的とした、富山市小西から同市粟島町に至る延長約2.9kmの交差点立体化事業です。

整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通事故の削減
- ・幹線道路ネットワークの強化

令和2年度の事業内容

現在、立体道路整備に向けて必要となる用地買収、改良工事（迂回道路整備）、富山跨線橋下部工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き用地買収、改良工事（迂回道路整備）、富山跨線橋下部工事を推進し、迂回道路（側道）への交通切り替えを早期にできるよう事業を推進します。

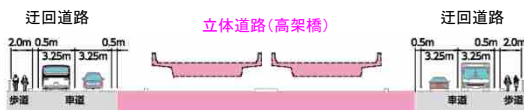


豊田新屋立体の整備の進め方

■現在:交通を切り回すための迂回道路(側道)を整備



■迂回道路(側道)へ交通を切りまわし高架橋を整備



■完成した高架橋へ交通を切りまわし、歩道・側道を整備



【凡例】 整備箇所 車両通行箇所



国道 8 号 ^{ろっけ} 六家立体事業の推進

^{と やま たかおか} 富山県高岡市

R2事業費
330百万円

事業の概要

六家立体は、能越自動車道、国道 8 号、主要地方道高岡環状線が平面で接続する高岡インター入口交差点の立体化整備により、当該交差点の渋滞解消、国道 8 号の通過交通の分散を促すことによる混雑緩和を目的とした高岡市石塚から同市六家に至る延長約 1.3 km の交差点立体化事業です。

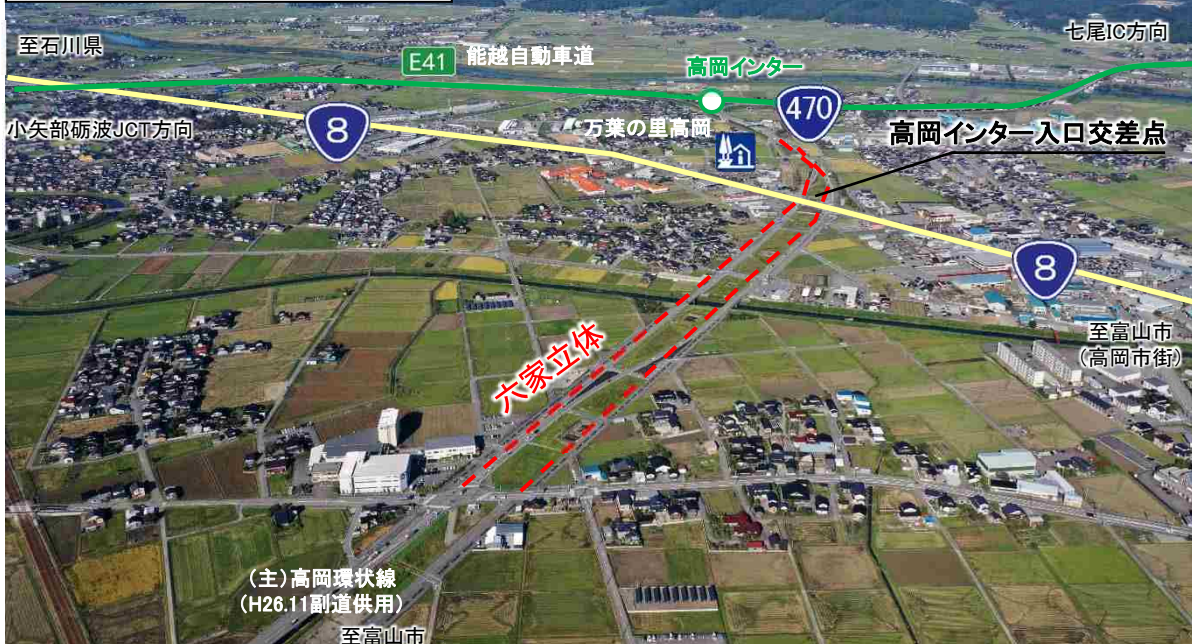
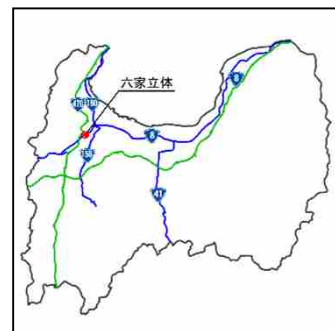
整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 物流効率化による地域産業の支援

令和 2 年度の事業内容

六家立体は、令和元年度に新規事業化した事業であり、現在、早期工事着手に向けて橋梁設計を推進しています。

令和 2 年度は、引き続き早期工事着手に向けて橋梁設計などを推進します。



国道41号 おおさわの とやまみなみ 大沢野富山南道路事業の推進 とやま とやま 富山県富山市

R2事業費
1,150百万円

事業の概要

おおさわの とやまみなみ
大沢野富山南道路は、一般国道41号の交通渋滞の緩和、医薬品製造業等の地域の産業を支える物流の信頼性向上を目的とする とやま にれはら 富山市榎原から くりやま 同市栗山に至る延長約12kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 幹線道路ネットワークの強化

令和2年度の事業内容

おおさわの とやまみなみ
大沢野富山南道路では、用地買収を推進するとともに、令和元年10月に工事着手し、改良工事を推進しています。

令和2年度は、引き続き用地買収と改良工事を推進し、早期開通に向けて事業を推進します。



▲改良工（側溝）施工状況

ふしきとやま しんみなと
伏木富山港 新湊地区
ふ頭再編整備事業の推進
とやま いみず
富山県射水市

R2事業費
500百万円

事業の概要

ふしきとやま しんみなと
伏木富山港新湊地区では、船舶の大型化、取扱貨物の増加に対応するため、中央2号岸壁の増深改良(水深14m化)を行うとともに、一部係留施設の廃止、貨物の集約、ふ頭用地の利用方法を見直すなど、ふ頭の再編を図ります。

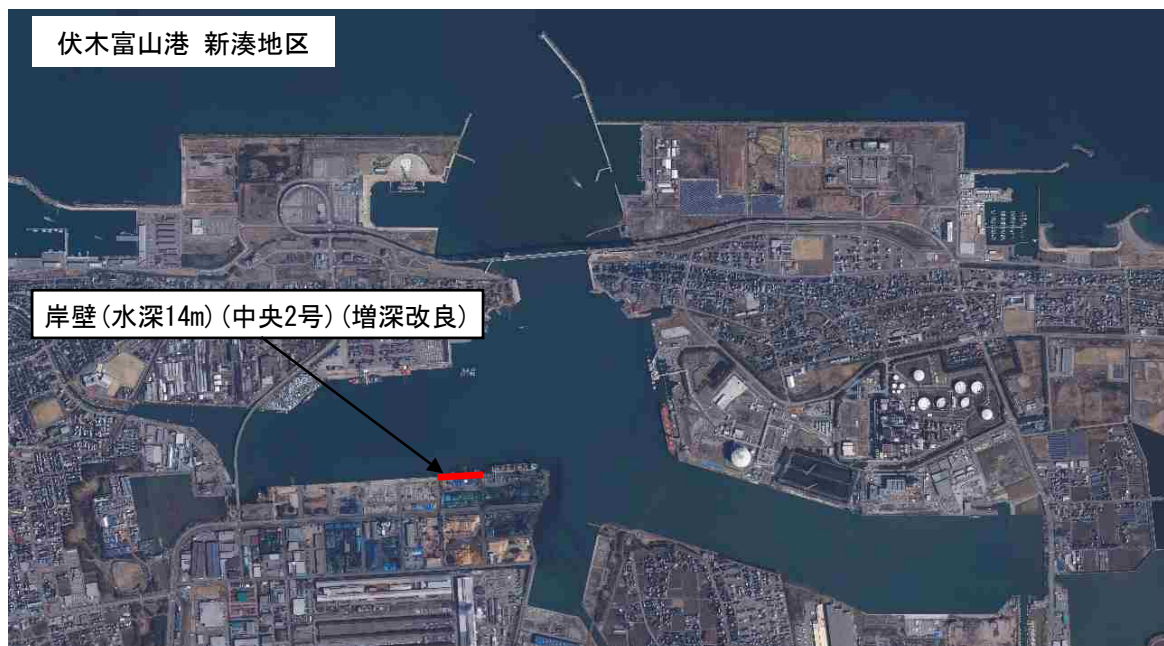
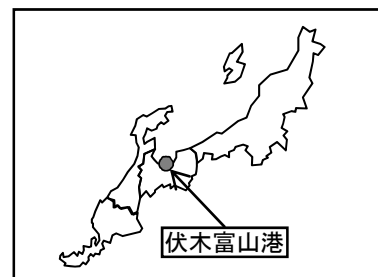
整備効果

大水深岸壁（水深14m）の不足から発生する非効率な荷役形態が解消されます。

令和2年度の事業内容

岸壁の増深改良を推進します。

【位置図】



ふしきとやま とやま
伏木富山港 富山地区
岸壁改良事業の推進
とやま とやま
富山県富山市

R2事業費
600百万円

事業の概要

ふしきとやま とやま
伏木富山港富山地区の岸壁(水深10m)(2号)は、供用開始から50年近くを経過し、エプロンの沈下や前面鋼矢板の腐食など老朽化が顕著であることから、老朽化対策として岸壁の改良を行います。併せて耐震化を図ります。

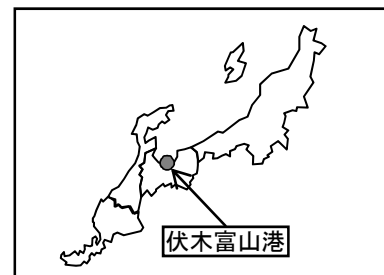
整備効果

施設の長寿命化・耐震性の向上が図られます。

令和2年度の事業内容

岸壁の改良を推進します。

【位置図】



伏木富山港 富山地区



かもがわ
とやま うおづ
鴨川大規模特定河川事業の推進
富山県魚津市

R2事業費
300百万円

事業の概要

鴨川水系鴨川は、魚津市内の住宅密集地を流下する二級河川であり、河幅が狭いことから平成26年豪雨による洪水等で甚大な被害が発生しました。このため、放水路整備を集中的に実施し、治水安全度の向上を図ります。

整備効果

放水路整備の実施により、治水安全度の向上を図ります。

令和2年度の事業内容

魚津市新金屋地内において、放水路の整備を促進します。



北日本新聞 撮影



H26.7豪雨出水状況



[地域高規格道路 ^{たかおか} 高岡環状道路]

(主) ^{たか おか} 高岡環状線事業の推進

^{と やま たか おか}
富山県高岡市

R2事業費
860百万円

事業の概要

^{たかおか} 高岡環状道路は、^{のうえつ} 能越自動車道と一体となって^{たかおか} 高岡市街地の環状道路を形成し、交通の円滑化を図る極めて重要な幹線道路です。

主要地方道^{たかおか} 高岡環状線は、物流の効率化、主要渋滞箇所の解消、地域間交流の支援を目的とした道路であり、^{たかおか かみふすまえ さの} 高岡市上伏間江から佐野間の延長約2.6kmの事業です。

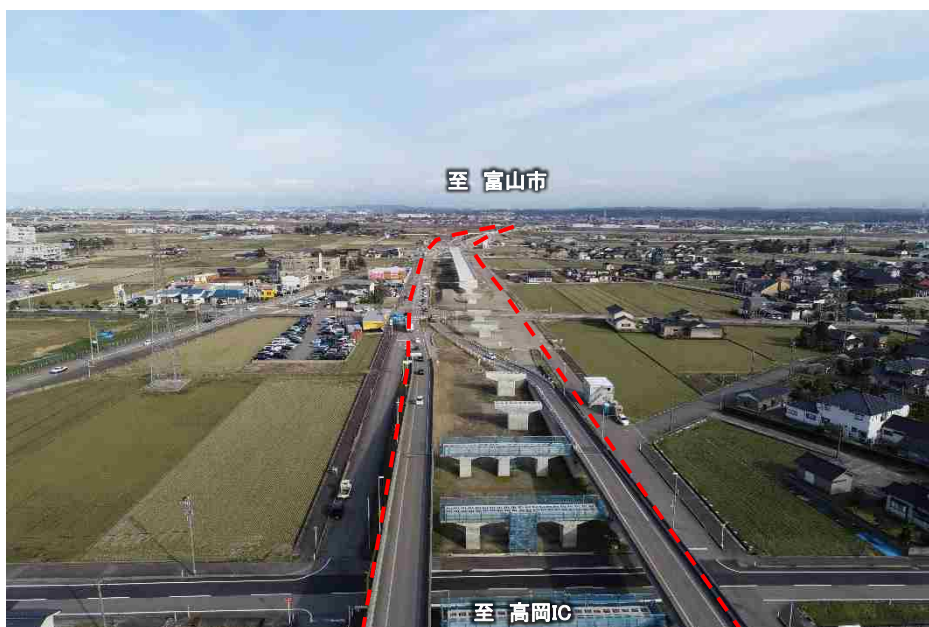
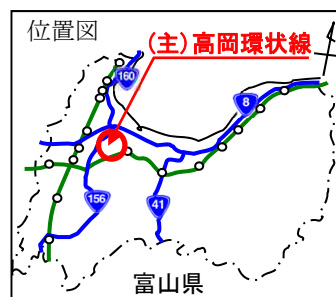
整備効果

- ^{のうえつ} 能越自動車道 ^{たかおか} 高岡ICから北陸新幹線新高岡駅へのアクセス向上
- ^{たかおか} 高岡市街地への流入交通の分散により、市内の交通渋滞を緩和
- 県西部地域や能登地域との物流・交流の促進による地域の活性化

令和2年度の事業内容

現在、^{たかおか かみふすまえ さの} 高岡市上伏間江から同市佐野間の延長2.6kmにおいて、改良工事および橋梁工事を推進しています。

令和2年度は引き続き改良工事、橋梁上下部工を推進します。



^{ふたつか}
施工状況（二塚高架橋 周辺）

[スマート I Cアクセス道路]

かみいち みずはし

(一) 上市水橋線事業

かみいち

(町) 上市インター線事業の推進

とやま なかにいかわ かみいちまち
富山県中新川郡上市町

R2事業費
127百万円

事業の概要

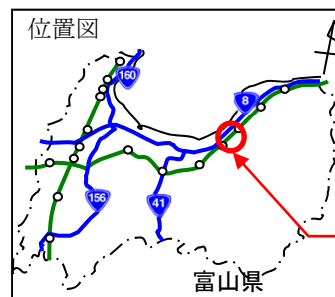
一般県道^{かみいちみずはし}上市水橋線及び町道^{かみいち}上市インター線の整備は、令和2年末に開通予定の上市スマート I C^{かみいち}の整備と合わせて、地域の経済活動支援や観光産業の活性化等を図ります。

整備効果

- ・企業誘致の促進、雇用の増大など地域産業の活性化
- ・より一層の安全、安心な救急救命体制の確保
- ・通勤圏、行動圏の拡大に加えて、近接する国道8号の混雑緩和への貢献

令和2年度の事業内容

現在、全線で改良工事を推進しています。
令和2年度は、引き続き改良工事を推進します。



(一) 上市水橋線
(町) 上市インター線



事業箇所